

JA しまね ひより

2025
8

August
Vol.113

Shimane
Biyori



食べて応援 しまねの農業

「私たちの国で消費する食料は、できるだけこの国で生産する」
その考え方を「国消国産」と言います。

特集 第11回通常総代会



YouTube



Instagram



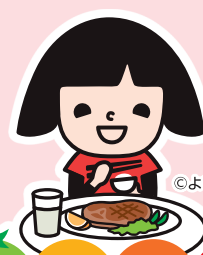
LINE



SNSで旬な情報を
投稿しています



JALしまね くまびき地区本部版



©よい食P



2025

J Aしまね第11回通常総代会を6月22日(日)、
松江市の島根県民会館で開催しました。



今年で第11回を数える通常総代会を6月22日(日)、松江市の島根県民会館で開催しました。

当日は、総代定数1,000人(欠員11人)に対し、964人(書面決議を含む)が出席。議長団に、吉岡雅裕総代(くにびき地区本部)、澄田晃治総代(出雲地区本部)の両氏を選出し、各地区本部総代から意見、要望が出される中、前年度事業報告、新年度事業計画など全議案が可決承認されました。

石川寿樹組合長は「令和7年度は昨年度に続き農林中央金庫の還元減少等の影響で大幅な収益減少が予想される。そうしたなか、事業利益2億10百万円、当期剰余金2億91百万円と全地区本部が黒字を目標に取り組む。農業振興支援事業についても昨年度同様1億50百万円を計画している。取り巻く環境は今まで以上に厳しいものがあるが、事業本部制への移行など引き続き改革を断行し、組合員の皆さまの期待に応えながらこれまで積み重ねてきた統合の成果をしっかりと実現していく」とあいさつしました。

また、役員改選を行い、その後の理事会において新組合長に竹下克美の就任が決定。竹下新組合長のもと新たな執行体制がスタートしました。

また今回、食料・農業・地域政策の推進強化に向けた基本農政の確立に関する特別決議が、満場一致で採択されました。

今後5年間での農業構造転換を着実に進めるため予算増額を求めるとともに、米政策の見直しにあたっては将来にわたり生産基盤が維持されるよう政府・与党に強く要請し、さらには国産農畜産物の適正な価格形成の実現に向け「国消国産」運動に関係機関と一体になって取り組むことを確認しました。



議長団 澄田晃治 総代(左) 吉岡雅裕 総代(右)



石川寿樹 代表理事組合長

食料・農業・地域政策の推進強化に向けた基本農政の確立に関する特別決議(案)

我が国においては、生産資材価格の高止まりが続く一方、多くの品目において価格への転嫁は十分進んでいない。さらに、気候変動の深刻化や自然災害の激甚化・頻発化に加え、国際的な政治・経済情勢の一層の不透明化等が追い打ちをかけ、我が国農業・農村は、営農を継続し、地域を維持できるかどうかという重大な岐路に立たされている。

こうした厳しい情勢を踏まえ、政府は食料安全保障の確保を目的に、四半世紀ぶりに改正された「食料・農業・農村基本法」に基づき、新たな食料・農業・農村基本計画を閣議決定し、初年度(令和7年度)を「農業構造転換集中対策期間」と位置づけ、施策を集中的に実行するとした。

また、相互関税や自動車関税等の見直しの交渉材料として、米国農畜産物の日本への市場アクセスの拡大が検討されている旨の報道が連日なされ、生産現場には大きな不安と混乱が広がっている。こうした中、特に我が国の主食であり、数少ない自給可能な品目である米について、海外からの輸入により現在の価格水準に対応するという安易な考えは、将来の食料安全保障の確保に大きな禍根を残し、わが国の国益を損なうものであり、到底受け入れられるものではない。

以上を踏まえ、J Aしまねは、下記事項に取り組む。

記

1. 今後5年間の構造転換を中心に、その実践の取り組みを強力かつ着実に推進する予算総額の増額が不可欠であるため、その実現に向け、組織の総力を挙げて取り組んでいく。

1. 米政策の見直しにあたっては、将来にわたり生産基盤が維持され、農業者が希望を持てる方向性が示されるよう、政府・与党に強く要請していく。

1. 「国消国産」を軸とした食料安全な農畜産物の持続的供給に必要な生産コストを考慮した適正な価格形成の実現に向け、消費者に対し理解の醸成および国産農畜産物を選択する動機付けにつながるよう、関係機関と一体となった取り組みを引き続き展開する。

以上、決議する。

令和7年6月22日

第11回 島根県農業協同組合 通常総代会

第11回

通常総代会特集

令和6年度 事業報告

令和6年度は、依然続く国際的な資源価格高騰や円安の影響により物価高騰が相次ぎました。また、令和7年1月に発足した米国トランプ政権による関税政策は、世界的な貿易戦争の様相を呈しており、世界的な経済への影響等に今後引き続き注視が必要な状況となっています。

国内では夏場の酷暑の常態化に加え、「激甚災害」に指定される局地的な集中豪雨などの災害が全国各地で発生しており、農業生産に大きな影響を与えています。

5月に「食料・農業・農村基本法」が25年ぶりに改正され、食料安全保障を軸とした今後の中長期的な方向性が示されるとともに、JAグループ等農業関係団体が重要な役割を果たしていることが明記されました。

JAグループでは、10月に開催した第30回JA全国大会において「組合員・地域とともに食と農を支える協同の力」協同活動と総合事業の好循環」を決議し、引き続き「持続可能な農業の実現」「豊かでありやすい地域共生社会の実現」「協



日高光弘 代表理事専務



投票風景

同組合の役割発揮」の実現に向けて取り組むこととしてあります。	こうした状況のなか、令和6年度は「第3次農業戦略実践3カ年営農計画」の最終年度として、鍵となる園芸振興、担い手確保・育成、また有機農業をはじめとした付加価値の高い、地域資源を活用した循環型農業の拡大及び有機多目的倉庫、広域育苗施設の新設など農業生産基盤整備の拡充に取り組みました。	取り組みの結果、販売品販売・取扱高が39億26百万円、購買品供給高が301億7百万円、貯金残高が9,886億94百万円、貸出金残高が2,900億98百万円、長期共済保有高が2兆6,529億79百万円となりました。また、財務状況の安全性を示す指標である自己資本比率は14.04%となりました。	収支面については、事業利益が7億64百万円、経常利益は15億32百万円となりました。
貯金残高	9,886億94百万円	貸出金残高	2,900億98百万円
長期共済保有高	2兆6,529億79百万円	自己資本比率	14.04%
事業利益	7億64百万円	経常利益	15億32百万円
当期剰余金	8億57百万円	販売品販売・取扱高	398億26百万円
購買品供給高	301億7百万円		

【議 案】

本総代会にて付議した議案は次のとおりです。

- | | | | |
|-------|-------------------------------|--------|----------------------------------|
| 第1号議案 | 令和6年度事業報告及び剰余金処分案について | 第7号議案 | 「隠岐の島町地域人材づくり協同組合」への加入について |
| 第2号議案 | 第4次農業戦略実践3カ年営農計画の設定について | 第8号議案 | 令和7年度指導事業に要する経費の賦課及び徴収の方法の決定について |
| 第3号議案 | 第4次中期経営計画(令和7年度～令和9年度)の設定について | 第9号議案 | 退任理事に対する退職慰労金の支給について |
| 第4号議案 | 令和7年度事業計画の設定について | 第10号議案 | 退任監事に対する退職慰労金の支給について |
| 第5号議案 | 役員の選任について | 第11号議案 | 令和7年度における理事の報酬額の決定について |
| 第6号議案 | 定款附属書総代選挙規程の一部変更について(特別決議案) | 第12号議案 | 令和7年度における監事の報酬額の決定について |



第11回 総代会Q&A



Q 1 事業計画の全てが達成しているにも関わらず、出資配当率を引き下げた根拠と経緯を説明いただきたい。

回答 出資配当率の引き下げについては①実質的には減収・減益の令和6年度決算結果②農林中央金庫の無配当による減収が今後3年間は継続する見通しであること③営農施設老朽化・固定資産減損対策の3点があげられます。

これらを踏まえ、組合員の皆さまへの配分は若干控えさせていただき、今後もJA事業を持続的にご利用いただくための共用財産（組合員資本）に充てさせていただく考えです。

Q 2 営農指導員は長期的・継続的に配置してこそ経験を積むことができ、専門性が高まる。そのような人材を育てていくためにも、営農指導員の度重なる配置転換をやめていただきたい。

回答 当JAでは職員のスキルアップや不祥事防止、コンプライアンスといったさまざまな総合的観点から「同一部署5年滞留によって原則異動」という考え方を理事会で決定し運用しています。一方で「指導員を度々替えてもらっては困る」というご意見をいただいていることは承知しています。

「新しい運営体制」のなかでは総務管理部門を集約して職員を再配置し、営農指導部門を充実させることを考えています。組合員の皆さまから求められている営農指導体制については、人事異動を含め今後の大きな課題としてとらえ検討してまいります。

Q 3 令和7年産米について、今後どのように契約を進めていくのか。毎年、どこよりも高く売るといふ意気込みや最終的にいくらで売るのが伝わってこないため、農家が迷走していると感じる。JAの存在価値をきちんと示せるような販売計画や販売体制をとっていただきたい。

回答 令和7年産米については、生産者の皆さまには早い時期から安心して意欲をもって生産していただけるよう、概算金の最低保証額を5月にお示ししました。今後、国の方針や米価の動向を注視しながら、生産者・消費者の皆さま両者にとって適正な価格となるよう努め、価格決定をしてまいります。また、本総代会でご指摘いただいた点や改善すべき点についても、今までのやり方にこだわらず、見直しを行うよう検討してまいります。

Q 4 令和6年産米の最終精算金額はどのくらいになると予想しているのか伺いたい。また、最終精算時に何年産がいくらで売れて、出荷者にどれだけ支払われたのかが分からないため、明確に記していただきたい。

回答 6月末時点での残数が6,200トン程度となっています。現在、明確な数字は試算中のため、最終販売が終わらないと回答ができませんが、8月には金額を示していきたいと考えています。

また、最終精算時に、いくらで売れて、出荷者の皆さまにどれだけお支払いしたかわかりやすくお示しできるよう努めます。

Q 5 島根県はタマネギを栽培するにあたって本当に適地なのか伺いたい。

回答 タマネギは全国的に栽培されている作物であり、島根県が全く栽培に向いていないということはありません。しかしながら、山陰は湿潤な気候であるため、排水が良く灌水ができる圃場で栽培いただくことが重要なポイントとなります。販売面では、大産地である九州・北海道の端境期に「島根たまねぎ」を出荷することができるため、とても需要が高く適地であると考えています。

この他にも
多くのご意見を
いただきました。



©よい食P

※今回掲載した質問・意見要望等についての内容は、主な質疑について要点をまとめたものです。

新役員代表挨拶

この度、JAしまね第11回通常総代会後の理事会におきまして代表理事組合長に選任され、就任いたしました竹下でございます。重責を全うすべく専心努力いたす所存でございますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

さて、JAや農業・農村をめぐる情勢は一段と厳しさを増し、今後さまざまな課題や困難が待ち受けていると予想されます。このような状況ではございますが、持続可能な経営体として強固な経営基盤を確立しなければなりません。令和7年度は第4次中期経営計画の実践初年度となります。JAしまねが目指す姿である「持続可能な農業の実現」「豊かでくらしやすい地域共生社会の実現」「協同組合としての役割発揮」の実現に向け、全身全霊で取り組んでまいります。

そのためにも、管理部門のコスト削減と統合メリットをより発揮し、JAの使命である農業振興と組合員からの負託に応えていくことを目的に、令和10年4月の「新たな運営体制」移行に向け、組合員や利用者の皆さまに具体的で分かりやすい説明を重ね、ご意見を頂戴しながら、合意形成を図ってまいります。

また、令和の米騒動以来、JAグループが報道に取り上げられる機会が増えましたが、時に誤解を受けることもありJAグループの広報発信力の脆弱さを痛感しております。JAしまねといたしましても、組合員の皆さまを始め、県民・消費者の皆さまに、JAの果たす役割や事業展開をしっかり発信し、共感を持っていただけるよう広報活動の充実に努めていかなければならないと考えております。

「脱皮できない蛇は死ぬ」という言葉がございます。組織も成長するなかで、これまでの価値観を脱ぎ捨て、新たな価値観を身につけなければなりません。まさにJAしまねは今その「脱皮」の時期に差し掛かっています。

「食と農を基軸として地域に根ざした協同組合」としての役割を発揮するため、役職員一丸となって愚直に進みたいと存じますので、旧に倍しましての叱咤激励を賜りますようお願い申し上げます、就任のご挨拶とさせていただきます。



代表理事組合長

竹下 克美

退任役員代表挨拶

退任にあたりご挨拶を申し上げます。

この度、先の通常総代会を以て、任期満了に伴い代表理事組合長を退任させていただきましたこととなりました。

令和元年より6年間にわたり組合長として務めさせていただきましたが、この間、組合員・利用者の皆さまをはじめ、関係機関、各団体、そして職員の皆さまなど多くの方々のご理解とご協力を賜りながら職責を全うできましたことに深く感謝申し上げます。

振り返ってみますと、就任後まもなくコロナ禍に突入し、約3年間は様々な制限下での事業展開を余儀なくされました。加えて、ロシアによるウクライナ侵攻により、燃油や飼料・肥料などの生産資材の価格が高騰したことや、農林中央金庫の収支悪化による還元減少等の影響もあり、当JAの経営状況は非常に厳しいものでした。こうした想定外の事態に直面しながらも、営農経済事業や信用共済事業をはじめとする様々な事業改革を行い、盤石な経営基盤の確立に努めてまいりました。そのなかでも、農機事業の県域会社化や、県域施設・物流体制の整備として「広域玉葱調製保管施設」や「有機多目的倉庫」の建設を行いました。また、生産資材店舗の利便性向上に向けて㈱ジュンテンドーとの業務提携を結び、JAの資材を同社で購入可能とするなど、一定の改革を進めてまいりました。こうした改革に取り組むことができたのも、ひとえに組合員・利用者の皆さまのご理解とご協力の賜物と心より感謝申し上げます。

しかしながら、JAを取り巻く環境は依然として厳しい状況が続いており、事業運営体制の見直しや米の問題など、取り組まなければならない課題が山積しております。新たな執行体制のもと、今まで以上に役職員一同一丸となって取り組み、JAしまねの未来を切り拓いていかれることを期待しております。組合員・利用者の皆さまにおかれましても、変わらぬご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びとなりますが、これまでのご厚情に深く感謝申し上げます。皆さまのご健康とご多幸をお祈り申し上げます、退任のご挨拶とさせていただきます。

長い間お世話になり、本当にありがとうございました。



前代表理事組合長

石川 寿樹



新役員紹介

JAしまねの発展につとめてまいります。
よろしくお願い致します。



常務理事
(信用、共済)
和田守正則



常務理事
(改革推進、企画管理)
嘉本 智美



代表理事専務
(リスク管理、総務、人事)
珍部 誠



代表理事副組合長
(営農、経済)
日高 光弘



代表理事組合長
竹下 克美



くにびき地区本部
常務理事 本部長
越野 浩昭



理 事
盆子原紀子



理 事
岩谷 幸子



理 事
原 ますみ



理 事
村上 淳一



やすぎ地区本部

理 事
上廻 達矢



やすぎ地区本部

常務理事 本部長
中尾 武



くにびき地区本部

理 事
諏訪 智子



くにびき地区本部

理 事
引野千嘉志



くにびき地区本部

理 事
福井 繁久



隠岐地区本部

常務理事 本部長
佐々木賢治



雲南地区本部

理 事
永田 隆



雲南地区本部

理 事
宇都宮克明



雲南地区本部

理 事
岩田 孝史



雲南地区本部

常務理事 本部長
源 之美



出雲地区本部

理 事
神田 真里



出雲地区本部

理 事
山本 直樹



出雲地区本部

常務理事 副本部長
吾郷 正人



出雲地区本部

常務理事 本部長
坂本 満



隠岐どうぜん地区本部

常務理事 本部長
山本 修司



斐川地区本部

理 事
錦織 稔



斐川地区本部

常務理事 本部長
伊勢 雅和



出雲地区本部

理 事
伊藤 康浩



出雲地区本部

理 事
石川千恵美



出雲地区本部

理 事
鎌田 英男



いわみ中央地区本部

常務理事 本部長
佐々木 豊



島根おおち地区本部

理 事
烏田 正輝



島根おおち地区本部

常務理事 本部長
服部 幸信



石見銀山地区本部

理 事
厚朴 邦広



石見銀山地区本部

常務理事 本部長
川上 隆



西いわみ地区本部

理 事
大場 尚俊



西いわみ地区本部

理 事
西川 友史



西いわみ地区本部

常務理事 本部長
竹長 隆



いわみ中央地区本部

理 事
佐藤 大輔



いわみ中央地区本部

理 事
佐々木重盛



監 事
中村 力



監 事
寺田 禎



常勤監事
松浦 正人



常勤監事
福田 克則



代表監事
影山 喜一



雲南地区本部

執行役員副本部長
佐藤 善雄



くにびき地区本部

執行役員副本部長
中村 隆



員外監事
利弘 健



「元気な地域」も女性部の力で！

島根おおち女性部

JA女性組織3カ年計画

『『あい♡』からはじまる『元気な地域』をみんなの力で』の実践初年度です。

助けあい

学びあい

育てあい

の3つの重点テーマを掲げ活動します。

でもらうことができました。
また、今年度、フレミズ部会が開催した「家の光クッキング・フェスタ交流会」でも当女性部がライスバーガーを提供し、参加者に仕上げ作業を体験してもらいとても好評でした。



助けあい

JAしまね島根おおち女性部は「食」と「農」を基軸とした食農教育活動や国産国産活動、地域活動に積極的に取り組んでいます。
青年連盟と協力し、食農教育活動として取り組む「ふれあい農園」では、いも掘り交流会を管内の保育所・園から園児を招いて行っています。今年度は苗植えも行う予定でしたが降雨で中止となり、秋に園児たちが楽しそうに掘る場面を想像しながら約1,000本の苗を盟友と協力して植えました。
また、昨年からの新たに邑智郡農業士会から依頼を受け、地元の高校1年生を対象とした「魅力発見！農業・塾」で地元食材をふんだんに使った特製ライスバーガーを提供。今年は7月7日に開催され、昨年は準備した食材が全て無くなるほど盛況だったため、ライスバーガーを増量してバージョンアップ！その他にも汁物やミニトマトをデザートにして提供し、生徒たちに喜ん



一所懸命青年連盟



JAしまね斐川青年連盟

もり つねとも
森 恒友さん



地産地消に取り組み、
農業を通じて、
地域に貢献していきたい

JAしまね斐川青年連盟（以下、農青連）の森恒友さん（48）は、斐川町出西で水稲・大豆・キャベツ・出西生姜などを延べ25haで栽培し、就農して13年目になります。他県で農業とは関わりのない職業に就いていましたが、奥さんの実家が農家ということもあり、後継として就農を決意しました。作業の主体となり年間の作業時間は多いなか、自分の力で農業を変えていくという思いで日々新たなことにチャレンジするように努めています。
農青連には、就農してすぐにJA職員から誘われて加入しました。森さんは「令和7年度は委員長として農青連活動を通じ、盟友同士の横のつながりを大切にしたい。また、コミュニケーション・理解促進を図るために、新たにSNSの活用も検討していきたい」と今後の意気込みを語りました。



エスニックな香りと味を楽しむ

コリアンダーは地中海原産のセリ科野菜。中国ではシャンツァイ（香菜）、タイではパクチーと呼ばれ、中華料理やエスニック料理に欠かせない食材です。セリに似た濃緑色の葉には独特の強い香りがあり、肉料理の添え物や炒め物に使います。成熟した種子は芳香とスパイシーな風味があり、香味料になります。比較的冷涼な気候を好み、中間地などでは夏には高温を避けるため、遮光するとよく育ちます。

中間地では冬を除いて周年栽培できますが、種まきに適しているのは春（4月）と秋（9月）です。収穫は種まき後約2カ月で始められます。

品種

「サワディ」（トキタ種苗）、「ぱくぱくパクチー」（サカタのタネ）などがありますが、一般には「コリアンダー」や「パクチー」の名で販売されています。

畑の準備

事前に1平方m当たり苦土石灰200gを菜園全体に散布して耕しておきます（図1）。その後、堆肥2kgと化成肥料（NPK各成分10%程度）100gを施し、土とよく混合し、幅90cmのベッド（栽培床）を作ります。

種まき

ペンチなどを使い、種を軽く押して割れ目を入れ、一晩水に浸すと発芽が早まります。小型の連結ポットや7・5～9cmポットに4、5粒まき、5mm程度に浅く覆土します。一つの殻に二つの種が入っているため、通常1粒から2株発芽しますが、その後間引いて本葉4、5枚の1株立ちの苗に仕上げます（図2）。間引きの際は残す株を傷めないように根元をはさみで切り取ります。じかまきの場合は、条間30cm、約1cm間隔の筋まきをし、徐々に間引いて、

最終株間を約15cmにします。

植え付け

幅90cmのベッドでは条間30cmの溝を3条に切り、苗を約15cm間隔で植え付けます（図3）。

灌水（かんすい）

水分を多く必要とするため、土が乾いたら少量を回数多く灌水します。夏の暑さ対策には50%程度の遮光ネットでトンネル被覆します（図4）。夜間や曇雨天時は取り除くのが良いでしょう。終日遮光をする場合は20%程度を使います。

病害虫の防除

アブラムシが付いたときは、見つけ次第、手でつぶしたり、登録農薬で駆除します。ハダニは主に葉裏に寄生し白い斑点やかすれた症状を示すので、登録農薬で防除します。農薬に頼らない防除法として防虫ネットのトンネル被覆がお勧めです。

収穫

草丈が30～40cm、葉数が10～15枚くらいになったら、抜き取って収穫ができますが、下葉を順次切り取るのも良いでしょう。春と秋では、1、2週間に1、2枚ずつ収穫できます（図5）。花茎が伸びてきたら、常に摘み取ってください。

図1 畑の準備

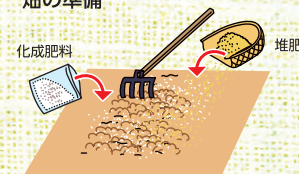


図2 苗作り

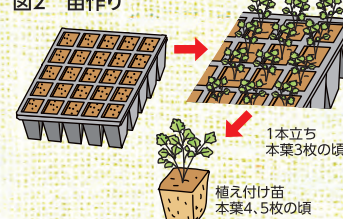


図3 植え付け

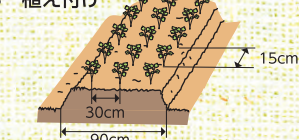


図4 暑さ対策

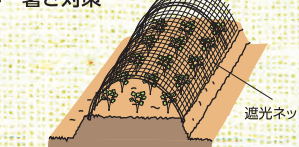
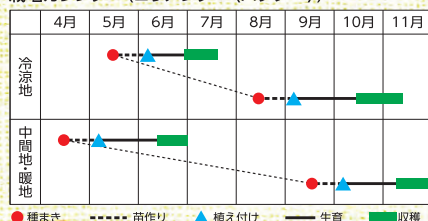


図5 収穫



栽培カレンダー（コリアンダー（パクチー））



「ベランダでも育てられる みんなのコンテナ栽培」

をJAしまねホームページで連載中です。今月は「コマツナ」!



理事会情報（7月29日開催）

【協議事項】

- ① 令和8年度島根県農業政策及び予算に関する要望について（第一次）
- ② 3連連携「JA営農経済事業支援の取組み」の活用と応募について
- ③ 島根米県域共同計算監査委員会の委員選出について
- ④ 令和7年9月1日付 機構改革の実施について
- ⑤ 「新たな運営体制」の構築に向けた実践体制について
- ⑥ ディスクロージャー誌2025について
- ⑦ 子会社等への役職員の推薦および派遣について
- ⑧ 不祥事件（葬祭事業）発生に伴う再発防止策の策定

について

- ⑨ 大口貸出金の承認について
- ⑩ (協議) 利息減免について(報告) 遅延損害金減免について
- ⑪ 組合と理事との取引にかかる【協議】包括承認について【報告】定型融資(更新分)の取引状況について
- ⑫ 組織的影響のある不備事項の抽出基準の策定について
- ⑬ 個人情報保護統括管理者の選任について
- ⑭ 理事の個別役員報酬額の決定について
- ⑮ 常勤理事の他の団体理事等への就任について
- ⑯ 令和6年度決算監事監査報告書 整備改善を要する事項(個別意見)への回答について

令和7年度 くにびき地区本部 総代説明会開催

くにびき地区本部情報

ECOSTYLE実施中！運動期間：5月1日（木）～10月31日（金）

くにびき地区本部総代説明会を6月14日、営農総合センターで開催しました。令和6年度の事業報告、令和7年度の事業計画、基本方針など主な内容について報告します。



当日は、総代138名のうち、94名が出席しました。冒頭、出席者全員によるJA綱領の唱和。その後、日高光弘専務（※当時。現副組合長）が「令和6年度は農林中央金庫の無配当に加え、金利引き上げによる貯金費用の増大、共済事業における付加収入の減少の影響で厳しい状況下でしたが、営農経済事業改革や店舗再編等の信用共済事業改革に取り組んだ成果もあり、全地区本部とも黒字を確保することができました。皆さまのご利用・ご協力の賜物と深く感謝を申し上げます。令和7年度も厳しい経営環境が続くと予想されますが、本店と地区本部が連携し、全地区本部とも黒字となる計画を立てています。各事業の目標達成に向けて、役員一丸となって取り組んでまいります」と石川寿樹組合長の挨拶を代読しました。

続いて、越野浩昭本部長が「令和6年度は当地区本部も黒字を確保することができました。皆さまのご理解・ご協力の賜物と深く感謝を申し上げます。また、連日米に関する報道が続いており、適正価格での安定供給が、生産者と消費者の相互にとっていかに重要であるか明らか

なっています。価格安定に繋がる大事な取り組みとして集荷・販売に一層の努力を行ってまいりますので、ご理解・ご協力を賜り、JAへの出荷をお願い申し上げます。また本年度は、大幅な収益減少が予想される中、当地区本部は引き続き、「松江市農業の振興」「農業所得の増大」「積極的な地域振興」に取り組みまいります。皆さまが厳しい状況を乗り越えられるよう、引き続き農業生産現場に寄り添い支援してまいります」と感謝と意気込みを語りました。

その後、座長には桑谷充男総代長（第4選挙区・鹿島島根ブロック）を選出。JAしまねとくにびき地区本部の令和6年度の事業報告、令和7年度の事業計画などについて説明し、出席者から意見、要望がありました。（11ページ「Q&A」参照）

こうした意見や要望を踏まえ、くにびき地区本部が組合員・利用者の皆さまから信頼され満足いただけるよう、役員一同事業運営にあたってまいりますので、変わらぬご支援・ご協力をよろしくお願い致します。

くにびき地区本部の概況

令和6年度事業実績（令和6年4月1日から令和7年3月31日まで）

（単位：千円）

科 目	6年度実績(A)	6年度計画(B)	計画対比(A-B)	科 目	6年度実績(A)	6年度計画(B)	計画対比(A-B)
事業総利益	2,915,342	2,838,461	76,881	事業管理費	2,866,436	2,823,107	43,329
信用事業	1,145,675	1,139,929	5,746	事業利益	48,905	15,354	33,551
共済事業	965,239	933,228	32,011	事業外利益	143,938	121,454	22,484
購買事業	304,689	287,920	16,769	事業外費用	37,495	34,787	2,708
販売事業	106,098	96,994	9,104	経常利益	155,348	102,020	53,328
保管事業	9,357	14,390	▲5,033	特別利益	11,572	5,593	5,979
加工事業	8,354	8,158	196	特別損失	89,235	101,157	▲11,922
利用事業	100,820	95,569	5,251	税引前当期利益	77,684	6,457	71,227
葬祭事業	276,063	271,691	4,372	法人税・住民税等	12,583	4,471	8,112
宅地等供給事業	15,942	16,982	▲1,040	当期剰余金	65,101	1,986	63,115
その他事業	1,307	207	1,100				
指導事業	▲18,206	▲26,608	8,402				

※本店配賦を含む。

組合員数（令和7年3月31日現在）

（単位：人、団体、戸）

正組合員			准組合員			合 計	戸 数		
個 人	法人・団体	合 計	個 人	法人・団体	合 計		正組合員	准組合員	合 計
8,690	44	8,734	28,270	128	28,398	37,132	6,703	22,103	28,806

役職員の状況（令和7年3月31日現在）

（単位：人）

役 員			職 員					合 計
常勤役員	非常勤役員	合 計	総合職	専門職	一般職	(うち営農指導員)	(うち本店勤務職員)	
2	3	5	201	28	12	20	33	241



日高専務



越野本部長



桑谷座長

Q & A



青山嘉夫総代

Q1 青山嘉夫総代 (朝酌)

J Aの施設である朝酌の茶工場について、「組合施設の状況」欄に記載がないが、遊休資産はどのような扱いになるのか伺いたい。

A1 日高専務

地域の施設が掲載されていないというご意見ですが、主な共同利用施設を掲載しています。また、現在稼働していない施設は掲載していません。ただし、固定資産台帳においては管理しています。

A1 越野本部長

旧朝酌茶工場については、不稼働資産としており、現在「くにびき改革プロジェクト」において有効活用できるよう取り組んでいます。

Q2

購買品の手数料について、手数料率はどのような取り扱いなのか。肥料等が高騰しており、手数料が増加しているのであれば、業績還元により組合員に還元していただきたい。

A2 日高専務

J Aしまねが取り扱っている統一した肥料や農薬の当用価格については、手数料を統一しています。ただし、各地区本部で業績還元や大口奨励等がある場合は、地区本部ごとで価格を設定していますので、その場合は手数料が異なります。牡丹等の地区本部特産品については、くにびき地区本部の価格で設定されているので、手数料も異なります。また、購買品、資材等については、原価が上れば手数料は増加しますが、小売価格は、市中の価格動向を見ながら、J Aとして安価で組合員に提供してまいります。



坂本勝美総代

Q3 坂本勝美総代 (穴道)

事業計画に記載の担い手育成、労働力確保について、生産者が減少して担い手が高齢化しているのが現状である。担い手育成、労働力確保について具体的な対策について伺いたい。

A3 日高専務

耕作放棄地の問題や労働力不足など、顕著な問題となっている中で担い手の育成については、各地区本部で就農支援を行っています。また、将来の担い手として位置付けている学生を対象とした農業研修など育成にも取り組んでいます。引き続き各地域で、農業振興の基盤確立に向け、次世代の農業者が就農しやすい環境の醸成に行政と連携し、取り組んでまいります。

A3 越野本部長

労働力確保については、関係機関と連携した農福連携に取り組む、令和6年度は3経営体が福祉事業所とマッチングしました。また、援農ボランティアを活用し、2法人へ短期間の農業支援にも取り組んでいます。さらに、新規就農者支援として就農計画の策定に行政と連携し取り組んでいます。なお、必要な時に必要な労働力の確保として、短期的なバイトによる農作業支援を望む声を集落座談会などで聞いていますので、様々な媒体を活用して取り組んでまいります。



永江りえ総代

Q4 永江りえ総代 (穴道)

備蓄米について、新米が店頭で販売されたときに、今後価格がどうなるか懸念している。また、農家は時給換算で10円などと報道されるなど、農家に對して将来が見出せない報道もある。J Aには、今後も農家に寄り添っていただき、生産者と消費者の相互でより良い形になることを期待している。

A4 日高専務

米価については、備蓄米を放出し店頭価格を下げるために政府が取り組んでいます。この価格では再生産価格にはならないと考えます。J Aとしては、3年間の概算金を示した島根米契約栽培取引や、概算金の最低保証額を早期に決定した取り組みを7年度より始めました。生産者が安心して生産できる環境を作ることが必要です。夢がもてる農業でなければなりませんので、希望があり夢がある農業になるよう目指してまいります。

くにびき地区本部 運営委員会

くにびき地区本部運営委員会は、J Aの組織及び事業運営に関して、組合員の皆さまのご意見・ご要望を地区本部並びにJ A全体の方針に反映することを目的に設置しています。

この程、新たな運営委員会（委員長・諏訪智子理事、副委員長・福井繁久理事）体制となりましたので、紹介させていただきます。

任期3年間

地区本部運営委員(31名)

選出地区名等	氏名	備考
松江東ブロック	小林 伸行	川津
松江東ブロック	古藤 昌希	朝酌
松江東ブロック	松本 広明	本庄
松江東ブロック	藤原 薫	持田
松江東ブロック	長野 博	古江
松江東ブロック	清水 秋廣	秋鹿
松江北ブロック	石倉 勝	大野
松江北ブロック	小数量安富	法吉
松江南ブロック	松尾 衛	生馬
松江南ブロック	金森 達央	津田
松江南ブロック	若林 大徳	竹矢
松江南ブロック	田中 鈴夫	大庭
松江南ブロック	宅和 広己	乃木
松江南ブロック	松浦 久義	忌部
松江南ブロック	桑谷 充男	鹿島
鹿島島根ブロック	新宮 文雄	鹿島
鹿島島根ブロック	平石 務	島根
鹿島島根ブロック	石川 美徳	島根
八束美保関ブロック	渡部 文明	八束
八束美保関ブロック	吉岡 敏弘	八束
八束美保関ブロック	大西 三郎	美保関
八束美保関ブロック	岸本 定朝	東出雲
八束美保関ブロック	森廣 紀元	東出雲
八束美保関ブロック	小松原恭二	八雲
八束美保関ブロック	稲田 宗	八雲

選出地区名等	氏名	備考
穴道玉湯ブロック	伊原 幸俊	穴道
穴道玉湯ブロック	永江 久夫	穴道
穴道玉湯ブロック	木村 邦之	玉湯
穴道玉湯ブロック	国谷 益雄	玉湯
女性枠	野津 佳子	橋北
女性枠	森口 順子	橋南

地区本部役員(5名)

職名	氏名
常務理事本部長	越野 浩昭
理事	福井 繁久
理事	諏訪 智子
理事	引野千嘉志
執行役員副本部長	中村 隆

また、任期満了により5名の地区本部運営委員が退任となりました。

選出地区名等	氏名	備考
松江東ブロック	原 慶治	朝酌
鹿島島根ブロック	横原 篤	島根
八束美保関ブロック	大西 正富	美保関
八束美保関ブロック	前田 保典	八雲
八束美保関ブロック	福間 泰正	玉湯

(敬称略)

○は新任

○は新任

令和6年度 事業報告

令和6年4月1日
～令和7年3月31日



鳥獣被害対策に係る支援措置の意見要望書提出
(8月6日)



フードバンクしまねあったか元気に米を寄贈
(6月26日)

営農指導・販売事業

- など集荷対策を実施し、JAへの出荷を促進するものの、申出数量96,042袋(前年度92,737袋)に対し、集荷実績66,627袋(前年度80,786袋)、申出対比69.3%(前年度87.1%)。
- ③役職員による「かがやき舞くにびき“つや姫(無洗米)”」の新米キャンペーンを実施。
- ④飼料用米生産者を表彰する「くにびき飼料用米多収コンテスト」を実施。(12/27・写真)
- (2) **野菜**
- ①「くにびきキャベツ」は、夏場の高温・乾燥による定植後の圃場での枯死や冬季低温による肥大不良が影響し、販売数量は729t(前年805t)と減少。
- ②新たな振興品目である「くにびき南瓜」「くにびきレタス」と高収益作物「島根たまねぎ」の特産化に向け、新規栽培者の確保と生産者の所得向上、生産拡大に取り組んだ。各生産者・作付面積は、南瓜で48経営体・7.68ha(前年51経営体・8.8ha)、レタスで21経営体・4.6ha(前年25経営体・4.6ha)、たまねぎで4経営体・3.98ha(前年4経営体・4.1ha)の実績。また、さつまいもが安定価格で機械化が図れる品目として、先行的に共販出荷を実施。
- ③「はまぼうふう」は新規生産者2名が加わり生産量が拡大。また、広島・岡山・大阪・山陰の各市場へ出荷し、市場との情報交換を行い有利販売に取り組んだ。生産者・作付面積は、7経営体・0.5ha(前年5経営体・0.4ha)の実績。
- (3) **西条柿**
- ①西条柿「こづち」は、夏の高温の影響により、日焼け果の発生や色付きの遅れ、カメムシ被害等により出荷量が減少。県内外市場とサンサン運動を中心に18.7t(前年度25.0t)の出荷量。
- ②東出雲町特産「畑ほし柿」は瀬戸内市場、「あんぼ柿」は、広
8. 安定的な販売に取り組むため、収穫前契約を推進し、米卸業者に対応した品種転換を進め、集荷数量で「きぬむすめ」787.9t(前年度990.6t)、「つや姫」573.8t(前年度547.3t)の実績。
9. 良質米生産の推進と売れる米づくりの実践に向け、「水稻指導会」の開催、「稲作メール」「稲作情報」による情報提供を実施し品質向上対策に取り組んだ。1等米比率については、収穫時期の高温による影響で「コシヒカリ」が13.6%(前年4.3%)と低く、「きぬむすめ」で78.2%(前年76.9%)、全体では68.8%(前年48.2%)と前年より改善。
10. 地産地消の取り組み
- (1) 新規産直会員の増加に向け「さんちょく営農塾」を開講し、20名が参加。出荷者協議会会員は、39名8団体が新たに加盟し、1,110名。
- (2) 産直事業は、「JA FARMERS Aコープたまゆ店」のリニューアル(11/22・写真)に併せインショップの産直売り場を増床し販売強化に取り組み、販売額は688,472千円(前年比100.2%)の実績。
- (3) 産直の品揃えの拡充する取り組みとして、出荷者協議会各支部で野菜栽培講習会を実施。
- (4) 学校給食の地場産野菜利用率増加に向け、関係機関・生産者と連携し、新品目の提案等学校給食への地場野菜提供を実施。
- (5) JAしまね統合10年企画として、松江市農林水産祭をくにびき地区本部で開催。(11/17・写真)
- (6) 「島根スサノオマジック」のホームゲームで買い物マルシェを開催し、地元産野菜を販売。(12/7・写真)
11. 農畜産物別の取り組み
- (1) **水稻**
- ①水稻の作柄は、田植え後は概ね順調に生育。分けつ期～幼穂形成期は、気温が高く藻類やガス湧きの発生する圃場が散見され、全体的に茎数が少ない傾向。出穂期～成熟期となる7～9月は高温が続き、米の品質に大きく影響。また、イネカメムシ類の多発により収穫量が減少。
- ②米集荷は、生産者への出荷依頼



JA FARMERS Aコープたまゆ店オープン
(11月22日)

主な農産物販売高

米	730百万円
野菜	921百万円
果樹	55百万円
畜産物	150百万円

1. JAしまね「第3次農業戦略実践3カ年営農計画」(令和4年度～令和6年度)の最終年度として、重点実施事項に基づき、管内の農業振興に取り組んだ。
2. 新規就農者等を対象とした育成研修の一環として、食農教育や労働力不足解消に関する学習会を開催。また、新規就農希望者の就農計画作成等の就農支援を、島根県・松江市と連携し実施。
3. 担い手サポートセンターを中心に、担い手経営体に対して、専門家による経営改善のためのコンサルティングを実施。また、農林中央金庫およびローンセンターと連携し、経営課題を可視化、短・中・長期課題に対し、解決策を提案する担い手コンサルティングを実施。
4. 法人設立を目指す対象地区について、関係機関と連携し相談・支援を行い、2法人が設立。
5. ㈱農協観光企画の「援農ボランティア」を活用し、農作業支援を実施。また、島根県・松江市と連携し農福連携の取り組みを進め、新たな経営体にも福祉事業所とマッチングを実施。
6. 新規就農者の施設取得に向けた支援として、リースハウス事業を活用した取り組みを紹介し、就農がスムーズに出来るよう取り組んだ。
7. 新規需要米について、飼料用米の作付面積は63.6ha(前年度83.1ha)。耕畜連携によるWCS用稲は96.1ha(前年度94.1ha)の実績。



令和6年産米「飼料米多収コンテスト」
(12月27日)



島根スサノオマジックホーム戦で産直販売
(12月7日)



松江市農林水産祭をくにびき地区本部で開催
(11月17日)

2. 生活

区分	実績	内訳
自動車	254,004千円	車両販売 217,562千円 整備部品 36,442千円
LP ガス	267,899千円	供給 248,273千円 ガス器具 19,626千円
生活 資材	85,974千円	シロアリ工事 55,210千円 テレショップ 30,394千円 その他 370千円
合計	607,877千円	

資産管理・相続相談事業

- 組合員の資産管理および高齢化・次世代対策として、資産相談センターは相続を中心とした相談業務に取り組み、229件（前年度251件）の相談に対応。
- 資産相談センターは、不動産売買3件（前年度3件）、賃貸住宅建設紹介2棟、住宅等の改修リフォームを13件（前年度18件）を実施。また、53棟322室（前年度53棟322室）の賃貸住宅管理によるオーナーの負担軽減と空室対策※空室率8.39%（前年度2.48%）に取り組んだ。さらに、資産管理協議会員等へ民法改正や相続税制改正などの情報を提供。

葬祭事業

- 多様化する葬儀形態に合わせ、ご家族・ご遺族に安心して利用いただけるよう葬儀を施行。
- 葬儀施行は588件（前年度578件）で、うち「虹のホール」の会館利用は405件、会館利用率68.9%（前年度387件、66.9%）の実績。
- 葬祭センターでの葬儀無料相談や、自宅などへの出張相談（56件）に取り組んだ。
- 法要ギフト・墓石・仏壇仏具・盆提灯などの推進を実施。

加工事業

1. 雲州人参

出荷量は40.3kg（前年度75.0kg）の実績。また、種苗確保に取り組んだ。

2. 茶

一番茶は、3月以降気温の高い日があり、芽の伸びも良く摘採量は増加。秋番茶は、前年並みの摘採量。茶工場取扱量は、一番茶、秋番茶の合計が24.2t（前年度22.5t）の実績。また、全役職員による販売活動（サンサン運動）を継続実施。

利用事業（営農）

1. 育苗

水稻苗は、79,867箱（前年度79,978箱）、野菜苗は、12,538トレー（前年度12,220トレー）の育苗実績。

2. 米穀乾燥調整施設

カントリーエレベーター「稲蔵」873t（前年度960t）、南ライスセンター345t（前年度357t）の処理実績。

3. 無人ヘリ防除

水稻の防除面積は、235.6ha（前年度240.0ha）の散布実績。

購買事業

1. 生産資材

- 生産資材予約は、組合員宅へ注文書を直送する「個別配布方式（ダイレクトメール）」で、年間3回実施。また、水稻肥料・農薬の早期予約取りまとめを実施し、利用高奨励措置を設け、生産資材供給を拡大。
- 生産資材価格低減対策の一環として、令和6年産水稻資材予約価格は、県下で共通に採用されている肥料・農薬を統一品目として、安価に提供できるよう実施。
- 集落営農組織・認定農業者等の担い手を対象に、提案型訪問活動を実施し、超大型規格や低コスト農薬などニーズに即した資材を提供。
- 廃棄農薬2,406.3kg、廃棄プラスチック16,222kgを回収し、適正処理による環境にやさしい農業を推進。

島・京都市場を中心に出荷。加工時期の天候の影響やカメムシ被害などにより商品のロスが多く発生し、出荷量は減少。

(4) 牡丹

①お歳暮・正月向けを中心とした牡丹鉢花は、開花調整期間を順調に生育。消費者需要に対応する数量を確保、出荷量は4,375鉢（前年度4,622鉢）の実績。

②苗木用の普通苗は、生産量の減少により出荷量が5.1万本（前年度8.3万本）と減少。既存の販売先との繋がりに重点を置いた販売に取り組んだ。

(5) そば

播種時期の雨不足による発芽不良、高温による登熟の遅れ、9月の大雨による冠水・湿害の影響および帰化アサガオの発生により刈取不能圃場が多く、前年と比較し収量が減少。栽培面積は105.2ha（前年度117.9ha）、収量は26t（前年度51t）の実績。

(1) 畜産

- 子牛価格は、前年より落ち着いてきたことから一定の相場で推移。子牛出荷頭数は、95頭（前年度124頭）と前年より減少。
- 和牛繁殖雌牛の生産性向上のため、県単・市単事業等の補助事業を活用し、優良雌牛を13頭（前年度15頭）導入更新。
- 生乳は、乳量が126t（前年度119t）、販売高は18,245千円（前年度16,554千円）の実績。
- 鶏卵は、鳥インフルエンザの影響により卵価が値上がりはしたものの、1戸の鶏卵農家廃業により、販売高は34,750千円（前年度44,707千円）の実績。

保管事業

米の集荷・検査買入数量は、下佐陀倉庫1,075t（前年度904t）、ライスターミナル「米蔵」923t（前年度1,192t）の実績。また、穀物検査業務については、国の検査基準に従い適正な検査を実施。



年金友の会 グラウンドゴルフ大会
(10月22日)



旧野波店を提供し消防救助訓練
(9月4日)



サンサン女子大開校
(6月1日)

共済事業

- 強化を図るため同施設で営業していた「グリーンショップたまゆ」を廃止。また、同店の安全性と利便性の向上を図るため「JA FARMERS Aコープたまゆ店」にリニューアル。農産物直売コーナー「くにびきサンサン市場」を約1.7倍に拡充・販売強化するとともに、週3回の集荷配送体制を整備。
- (3) 信用・共済事業改革として、5月に各支店における信用事務改革をすすめるため「営業店システム」を導入。また、7月には旧野波店の解体に伴い、旧野波倉庫跡地を貸出駐車場に整備しATMを移設。
 - (4) 企画総務部門では、3月にJAグリーンつだに生花供給拠点を設置し、葬祭事業と連携することで葬祭花の安定供給体制の構築。花卉類の農業生産拡大、農家・組合員の所得増大および同店の収支改善に取り組むため、JAグリーンかわつをJAグリーンつだ直轄とする機構改革を実施。
 - (5) 「くにびき改革推進プロジェクト」として、当地区本部が抱える諸課題の解決に向け「不稼働資産流動化」「JAグリーン・グリーンショップ改革」「米集荷・販売運動」「集落座談会・集落委員あり方検討」の4つのプロジェクトに加え、新たに「くにびき創生」「くにびき協同サービス体制検討」「有害鳥獣対策支援」「八束特産振興」の4つのプロジェクトを設置。解決に向けた具体策について地区本部運営委員とともに協議・検討を行い実施可能なものから取り組んだ。中でも、不稼働資産流動化プロジェクトでは、旧野波店の解体に着手し、解体前の同店舗を提供し、救助訓練を実施。(9/4・写真)

2. 管理

- (1) 「コンプライアンス・プログラム」に基づく年間行動計画を策定し、実践。また、コンプライアンス遵守・不祥事未然防止を強化。
- (2) 地区本部運営の中核支店である「東出雲支店」について施設老朽化と今後の事業展開を考慮し、東出雲町錦新町の商業集積地へ新

1. 組合員・利用者への感謝の気持ちをお伝えするとともに、絆の強化を目指し、「3Q活動」を実施。JA事業や共済事業に関連した情報提供並びに未請求案件(手術、自然災害など)の解消を目的に、26,826人のフォロー訪問活動を実施。
2. 長期共済契約保有高は、満期契約の増加や転換契約・解約等により前年度より減少し、期末保有高は4,620億円(前年度4,841億円)の実績。
3. 多発する自然災害や火災にもしっかり備えることができる「建物更生共済むてきプラス」や、新仕組みの「定期生命共済(逓減期間設定型)」の積極的なお知らせ活動を中心に普及活動を実施。実績ポイント4,595,968P、達成率101.3%。
4. 短期共済は、自動車共済の新規獲得および保障内容充実に向け、スマイルサポーター・LA・安心サポーターの連携を強化。新規・継続を含めた契約件数は21,959件(前年度22,000件)の実績。また、最高水準保障のクルマスター占有率は28.5%(前年度28.2%)。
5. ペーパーレス・キャッシュレス手続きによる業務効率化・事務負担軽減を促進。オンライン手続きに向けたWebマイページ登録を推進。
6. 社会貢献活動の一環として、「松江市へのカーブミラー(40基)の贈呈(9/27・写真)」「管内中学校への反射材の贈呈(タスキ723本、テープ1,749枚)」および「スタントマンによる自転車交通安全教室の開催」など交通安全意識を啓発。

経営・管理・人事

1. 経営

- (1) 10年後を見据え「めざす姿」として策定した「第3次中期経営計画」ならびに「第3次農業戦略実践3カ年営農計画」の最終年度として、各項目の進捗管理と目標達成に向けた事業改革・業務改善に取り組んだ。
- (2) 営農・経済事業改革として、9月にAコープたまゆ店のリニューアルに伴い、産直売場を増床し販売

信用事業

1. 農業と地域、組合員・利用者をつなぐ金融商品の提供として、夏と冬の定期貯金キャンペーンを実施。精力的に個人貯金増強に取り組み、貯金残高は1,365億97百万円(前年度1,414億41百万円)の実績。
2. 地域の農業メインバンク機能強化の取り組みとして、TACとの情報連携強化を図り、低利で利用しやすい農業資金を提供。新規貸出は82件、166,568千円(前年度86件263,485千円)の実績。
3. 個人貸出金は、住宅・マイカー・教育ローンを中心に取り組んだ。特に子育て世帯を中心に、「魅力ある金利」を提案可能とした「子育て応援宣言」を引き続き実施。また、貸出金残高は523億84百万円(前年度529億74百万円)の実績。
4. 年金指定口座獲得は、受給権が発生する方への訪問や無料年金相談受付を随時行い、新規指定口座獲得に取り組んだ。また、JA以外の受給者へ向けた年金指定替活動を実施。年金受給者数は13,260名(前年度13,553名)となり、プレ年金受給者層へは年金予約獲得訪問を行い267件の予約実績(前年度197件)。
5. 年金友の会の活動は、「日帰り旅行」の実施と「グラウンドゴルフ大会」を開催。(10/22・写真) 加えて、「第3回ゴルフコンペ」を開催。
6. 資産形成・資産運用のサポートとして、投資信託の販売に取り組み、販売額は225,393千円(前年度156,791千円)の実績。
7. 無料税務相談会を管内7会場(開催回数32回)で開催し、相続・贈与税や所得税を中心に52件の相談に対応。



松江市にカーブミラー寄贈
(9月27日)



東出雲支店移転オープン
(1月20日)



女性部玉湯支部設立
(11月9日)



を開催し、56組176名が参加。

4. 健康管理活動

JA島根厚生連・行政と連携し、「特定健診(集団検診)」「女性部検診」「胸部CT健診」「腹部超音波検査(腹部エコー)」「大腸がん検診」「乳がん検診(マンモグラフィ)」を実施。健康づくり活動や生活習慣病予防および疾病の早期発見に取り組んだ。また、農業法人会会員を中心に、担い手人間ドックに取り組んだ。

(4) **女性大学**—第7期(サンサン女子大)を開校し、食と農を主に文化、福祉など様々な分野のカリキュラムを通じて参加者が自己啓発と交流や親睦を深耕。(6/1・写真) また、JA事業への関心と参画を高めることを目的として毎月講座を開催。

(5) **組合員加入促進**—強固な組織基盤づくりと次世代の組合員化に向け、准組合員を中心とした「組合員加入促進」に取り組み、正組合員は52名、准組合員は402名が加入。(資格変更、法人・団体を除く)

(6) **集落座談会**—令和7年1月～2月に全32会場で開催。参加者は562名(正組合員461名・准組合員70名・員外31名)。組合員の参加・参画が高まるよう「集落座談会・集落委員あり方検討PJ」や「組合員つながり強化PJ」などの意見を基に決定し、開催。

築移転。(1/20・写真)

3. 人事

「農業協同組合らしい人づくり、組織基盤の確立と経営基盤の強化に向けた人づくり」としてJA島根中央会主催の各種階層別研修へ参加。また、能力開発の一環として、各種資格試験について受験勧奨を実施。さらに、マネジメント能力向上に向け、管理職に目標管理・人事考課、職場マネジメントの研修会を実施。

JAしまね農業振興支援事業・業績還元資金

1. JAしまね農業振興支援事業

支援名	内容	金額
園芸重点6品目産地拡大支援	キャベツ(苗、肥料)420千円、たまねぎ(種子)575千円の支援実施(支援対象・1農業法人、認定農業者1名)	995千円
合計		995千円

2. 業績還元

資金使途	内容	金額
「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」	令和6年度の出荷数量よりも増加した令和6年度出荷数量に対し、業績還元より1袋あたり総合ポイント「100ポイント」を還元。	573千円
	JAグリーン・グリーンショップなどで、組合員・利用者が幅広く購入される肥料と農業を厳選し、2割引特売を実施。また、春作園芸肥料・農業予約分(11月DM取りまとめ)についても、該当品目については2割引特売の対象。	3,962千円
	スタンプラリーを実施し、商品として「くにびきっ」(産直野菜詰め合わせ)を50名分用意し、「地産地消」と生産者所得増大を目的に実施。	191千円
JA事業とJAくらしの活動の展開	ご来店感謝デーや農業祭など、支店運営委員と実施内容を協議し、各支店100千円(税込)を予算として実施。	1,043千円
合計		5,769千円

2. 広報・教育文化活動

(1) JAしまね広報誌「JAしまねびより」やホームページなどにより広報活動を展開。

(2) 教育文化活動による協同組合の理解促進を深めるため、「家の光三誌(家の光・ちゃぐりん・地上)」「日本農業新聞」など教育資材の普及を拡大。

(3) 組合員・地域住民との絆づくりの一環として「支店だより」を全支店が発行し、より身近な情報発信に取り組んだ。

3. くらしの活動・地域貢献・地域活性化

(1) 「地域貢献・地域活性化」に取り組むグループ・団体等の多様な取り組みについて、2団体を表彰。

(2) 子どものいる「生活困窮世帯」に必要な食料などを届ける「フードバンクしまね“あったか元気便”」に協力。くにびき女性部が主体となり、7月と11月に「ひとり一品運動」を実施。また、各支店単位で食品の持ち込み運動を展開し、食料提供に取り組んだ。さらに、松江市農政会議とくにびき青年連盟と合同で413kgの米を寄贈。(6/26・写真)

(3) くにびき青年連盟とくにびき女性部で協力し、「親子いもほり大会」

1. 組織

(1) **農政会議**—関係団体と連携し行政へ有害鳥獣対策などの要望書を提出(8/6・写真)するとともに、農政の諸問題の要望について意見交換会を実施。また、研修会活動へ積極的に参加するとともに、松江市農林水産祭で「米のすくい取り」を実施し、松江市産米の消費拡大をPR。

(2) **青年連盟**—地域の幼稚園や島根大学の学生に対し「田植え・稲刈り体験」の農業体験実習を実施。また、地域の小学校に対し「イチゴの授業」による食農教育に取り組んだ。さらに、地域住民との「ふれあい親子いもほり大会」を開催し、農業理解を促進。

(3) **女性部**—目的別グループは、3グループ(「文化歴史・趣味」「営農加工」「健康」)で10講座22回開催し、延べ633人が参加。県下女性部の活動として「米一握り運動」を行い、くにびき女性部として256kgの米を集め、松江市内のこども食堂、フードバンクへ寄贈。また、JAしまね広報誌での「くにびき女性部からのおすすめ料理」や、山陰中央新報の「かあちゃんの一押し献立」において料理を紹介。さらに、玉湯支店が中心となり支部設立に取り組み、11月に玉湯支部が設立。(部員数31名・11/9・写真)

JAしまね 基本方針

令和7年度 事業計画

令和7年4月1日
～令和8年3月31日



©よい食プロジェクト

くにびき地区本部情報

ECOSTYLE実施中！運動期間：5月1日（木）～10月31日（金）

JAしまねでは、「持続的な農業の実現」「豊かでくらしやすい地域共生社会の実現」「協同組合としての役割発揮」を10年後の「めざす姿」として、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」の3つの基本目標のもとで不断の自己改革を実践してきました。

統合10年を迎えるにあたり、統合メリットを最大限に発揮して、組合員と地域にとってなくてはならない存在であり続けるため、第4次中期経営計画ではあらためて2030年に向かって挑戦する「めざす姿」を提起するとともに、その実現に向けて重点的に取り組む5つの柱を位置付け、運営体制の見直しを含む改革に取り組みます。

めざす姿
(10年後)

①持続可能な農業の実現

消費者の信頼や実需者のニーズにこたえ、食料安全保障の確保に向けて、安全で安心な国産農畜産物を環境に配慮しつつ、安定的に供給できる持続可能な地域農業社会を確立し、農業者の所得増大を支える姿

②豊かでくらしやすい地域共生社会の実現

総合事業を通じて地域の生活インフラ機能の一翼を担うとともに、様々な活動を通じて、多様な関係者と連携し、協同の力で豊かでくらしやすい地域共生社会の持続的発展に貢献している姿

③協同組合としての役割発揮

次世代や地域共生社会の構成員とともに「食と農を基軸として地域に根ざした協同組合」として経営の健全性を確保し、役割を発揮している姿



①食と農を未来につなぐ 持続可能な農業の実現 (3カ年営農計画)

- ・農業生産基盤の維持・拡大
- ・農業所得の増大



②豊かなくらし・地域社会の 活性化

- ・組合員のくらしへの貢献
- ・地域社会の活性化・持続的発展への貢献



③協同組合としての役割発揮を支える 組織基盤の強化

- ・組合員との関係強化
- ・JAの仲間づくり



④健全・強固な経営基盤の 強化

- ・組合員・利用者から信頼される組織・業務運営の実践
- ・多様な職員がきやすい・働きたいと感じる職場づくり



⑤農業・JAへの理解・ 共感の醸成

- ・国民理解の醸成と行動変容に向けた情報発信

重点的に
取り組む
5つの課題

事業環境の**変化**を踏まえ **オール島根**で実現に取り組む 体制づくりへ

くにびき地区本部 基本方針



くにびき地区本部が掲げる3つのめざす姿

- ① 県都松江市の地区本部として、JAしまねの中核を担うとともに、松江市農業の振興と農業所得増大並びに地域振興の積極的な実践
 - ② 健全・強固な経営基盤の強化と事業収支の黒字化確保
 - ③ 燦爛と輝く、明るく元気で差別のない職場風土と働きやすい働きがいのある職場の実現
- 上記の3つを目指し、組合員・利用者の皆さまと地域にとって必要とされる地区本部となるよう取り組みます。

基本目標

松江市の農業振興

農業所得の増大

積極的な地域振興

事業方針

〈営農・農業振興〉

項目	内容
1. 営農指導員のレベルアップによる営農指導の充実	水稻栽培指導の強化（1等米比率70%）
2. 担い手経営体の経営問題に対応した農業経営支援	農業経営コンサルティング（2件）、専門家派遣（2件）、集落営農・法人組織設立支援（1件）
3. 実需者からの要望に応える島根米の集荷販売対策の強化	出荷目標数量（コシヒカリ：450t、つや姫：660t、きぬむすめ：930t、つきあかり：390t）
4. 園芸重点推進6品目の面積、出荷量の拡大	産地化拡大（キャベツ：32ha、たまねぎ：3.9ha、ミニトマト：0.2ha、アスパラガス：0.4ha）
5. しまね和牛の品質向上による市場平均価格向上	子牛市場平均価格：535千円
6. 地域特産品目による生産振興の強化	生産面積・販売金額（南瓜：7.3ha14百万円、レタス：5ha10百万円、さつまいも：1ha1.6百万円）
7. 重点特産品目の持続可能な生産と担い手育成支援	牡丹生産量・販売金額（鉢：4千鉢15百万円、苗：4万本11百万円）
8. 産直販売強化による国産品の推進	出荷者会員数：1,120名、産直販売額582百万円
9. 関係機関と連携したスマート農業の普及・啓発の実施	技術実証・導入支援（2事業）、研修会・実演会開催（年1回）
10. 市・県と連携した有機農業や資源循環型農業の促進	有機米生産振興：5ha、WCS持続的生産：95ha
11. 行政・関係機関と連携した鳥獣害対策支援	行政へ支援要請、プロジェクト対策支援

〈くらしの活動等、生活購買事業（自動車・LPガス）、資産管理・相続相談事業、葬祭事業〉

1. くらしの活動等
 - ・女性部・青年連盟と組織活動の強化ならびに支店協同活動の実施
 - ・「家の光三誌」・「日本農業新聞」の普及活動を通じた教育文化活動の振興
 - ・広報・SNSによる情報発信の強化
2. 生活購買事業（自動車・LPガス）
 - ・自動車展示会開催や独自キャンペーンの実施（車両販売200台・車検整備760台）
 - ・他燃料からガス給湯器への転換とリース活用によるガス機器の普及（供給量583t）
3. 資産管理・相続相談事業
 - ・松江市の「新たな土地利用制度」の対応に向けた協議・検討
 - ・「相続・事業継承支援」による組合員・利用者へJAの世代を超えたつながりの構築（相談件数200件・研修会実施2回）
4. 葬祭事業
 - ・多様化する葬儀形態への対応力強化（施行件数580件）
 - ・他社との連携や遊休資産の有効活用も含めた対策の実施

〈地区本部運営〉

1. 組合員の拡大とアクティブ・メンバーシップの確立（※組合員が積極的に組合の事業や活動に参加すること）
2. 「くにびき改革推進プロジェクト」による地区本部独自の組織再編・事業改革・業務改善の実施
3. 「内部統制システム基本方針」に基づいたリスクの低減とコンプライアンスの徹底
4. 専門人材の育成、職場環境の充実（階層別研修会・安全衛生委員会・職場巡回などの実施）
5. 「新たな運営体制」への移行に向けた当地区本部で解決すべき課題について協議・検討

令和7年度事業収支計画（令和7年4月1日から令和8年3月31日まで）

（単位：千円）

科目	金額	科目	金額
事業総利益	2,797,550	事業管理費	2,786,700
信用事業	1,117,612	事業利益	10,850
共済事業	901,298	事業外利益	127,180
購買事業	293,065	事業外費用	39,353
販売事業	106,274	経常利益	98,677
保管事業	14,255	特別利益	1,793
加工事業	8,536	特別損失	90,773
利用事業	86,636	税引前当期利益	9,697
葬祭事業	278,341	法人税・住民税等	4,948
宅地等供給事業	19,748	当期剰余金	4,749
その他事業	248		
指導事業	▲28,463		

くにびき地区本部の新執行体制決まる！

任期満了に伴う役員改選の承認を受け、次の通りくにびき地区本部の新しい役員体制が決定しました。

大変厳しい経営環境の中ではありますが、組合員・利用者の皆さまに選ばれ、ご利用いただけるJAに向け取り組みでまいりますので、変わらぬご支援・ご協力をよろしくお願いします。

理事



ふくい しば 繁久
(再任・薦津町)

主な略歴等

昭和30年生。JAくにびき法吉支店長、リスク管理室長を歴任。平成28年4月から令和3年8月末まで（公社）鳥根県畜産振興協会事務局長。令和4年6月にくにびき地区本部理事に就任。
（所信）農業者と地域の声に耳を傾け、組合員に必要なとされ、信頼されるJAを目指し、努力します。



すわ とも こ 諏訪 智子
(再任・山代町)

主な略歴等

昭和37年生。平成23年4月から松江市農業委員会委員。平成27年5月からJAしまねくにびき女性部津田支部長に就任。令和元年6月本店（女性枠）理事、くにびき地区本部理事を歴任。令和5年4月JAしまねくにびき女性部長に就任。
（所信）JAと組合員や女性の互いの声をしっかり届けるように、熱意を持って取り組みます。



ひきの ちかし 引野千嘉志
(新任・浜佐田町)

主な略歴等

昭和34年生。平成30年8月から（株）まるなつ農園監査役。令和2年4月から（株）日本農業新聞記者。（所信）持続可能な農村・農業の構築に向けて、精励にされるJA運営に取り組めます。

就任の挨拶

このたびの役員改選により、くにびき地区の本部長に再任され、引き続き重責を務めさせていただくこととなりました。地区本部の発展に向け、誠心誠意努力いたす所存でございます。どうか宜しくお願い申し上げます。

さて、農業およびJAを取り巻く環境は、従前の課題に加え、昨年起きた「令和の米騒動」や農林中央金庫の無配当、さらには毎年記録を更新する温暖化など厳しい状況が依然として続いています。そのような情勢下で、令和7年度は「第4次中期経営計画」ならびに「第4次農業戦略実践3カ年営農計画」の初年度にあたります。当地区本部の三つの目指す姿である①松江市農業の振興、②農業所得の増大、③積極的な地域振興に引き続き取り組むとともに、第4次中期経営計画の進捗管理、事業収支の黒字化確保ならびに、持続可能な地域農業の実現に向けた基盤強化に一層注力してまいります。

また、米の価格安定に向けた集荷販売の強化、有害鳥獣対策の支援、八束特産品の振興、不稼働資産の活用推進、JAグリーン事業の再編など、各種「くにびき改革推進プロジェクト」を継続・加速させ、「適智適策」を講じ、収支改善と事業性向上を両立させてまいります。

私たちが目指すのは、「信頼され、選ばれ続ける協同組合」として、地域とともに未来を築く姿です。そのためにも、役員一人ひとりが創意工夫と丁寧な姿勢で、組合員・利用者の皆さまとの「対話」と「つながり」を一層深めてまいります。

結びに、組合員・利用者の皆さまには、今後とも、変わらぬご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

この度の役員改選により、くにびき地区本部の副本部長に再任され、地区本部では引き続き、営農経済事業を担当することとなりました。2期目となりますこの3年間の任期中は、農業振興・地域の活性化と、安定した地区本部運営に向け、鋭意取り組んでまいります。

農業を取り巻く状況は、後継者の減少や耕作放棄地の増加に加え、生産資材価格が高止まりしている事もあり、農業経営は厳しい状況が続いております。そのような状況の中で、本年度からスタートする、「第4次農業戦略実践3カ年計画」では、県全体での重点戦略として掲げており、「担い手確保対応」「米生産・集荷・販売強化」「生産資材コスト低減対策」などの取り組みに加え、くにびき地区本部独自の重点実施事項として、「地域特産品目の生産振興」「有害鳥獣対策支援」などにも、取り組んでまいります。

今後、組合員・利用者の皆さまとの対話による、地域課題の解決と、持続可能な地域農業の実現に向けて、取り組んでまいりますので、引き続き、ご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

常務理事本部長



こし の ひろ あき 越野 浩昭
(再任・東出雲町)

【地区本部統括（総務・企画管理・信用共済）】

主な略歴等

昭和40年生。昭和62年4月松江湖北農協へ入組。JA松江市、JAくにびきを経て、JAしまねくにびき地区本部総務部長、企画総務部長、統括部長、東出雲支店長を歴任。令和2年3月から令和4年5月末まで本店監査部長。令和4年6月にくにびき地区本部常務理事本部長に就任。

執行役員副本部長



なか むら たかし 中村 隆
(再任・比津が丘)

【地区本部統括補佐（営農経済）】

主な略歴等

昭和42年生。昭和62年4月鹿島農協へ入組。JA八束郡、JAくにびきを経て、JAしまねくにびき地区本部営農経済事業改革室長、営農経済部長を歴任。令和3年9月から令和4年5月末まで本店米穀園芸部長。令和4年6月にくにびき地区本部執行役員副本部長に就任。

退任役員

任期満了により、地区本部役員である菅井一理事、本店役員である三島滋夫監事の2名が退任しました。



しみ しば お 三島 滋夫
監事
(岡本町)



すが い まこと 菅井 一
理事
(竹矢町)

お世話になり
ありがとうございました。

農業者の所得増大・農業生産の拡大に向けて取り組んでいます。

～くにびき地区本部の取り組み～

松江市果樹生産振興協議会設立総会を開催！

くにびき柿部会、松江ぶどう生産組合ならびに、島根県農林水産振興センター、松江市と当地区本部の5団体が集まり、松江市果樹生産振興協議会が発足。7月10日には、営農総合センターで「松江市果樹生産振興協議会設立総会」が開催されました。

同協議会は、松江市における果樹産地の目指すべき具体的目標を定めた「松江市果樹産地構造改革計画」を策定し、推進する事を目的に設立。

松江市果樹生産振興協議会設立総会



(後列左から) 中尾委員、中村委員、恩田委員
(前列左から) 石倉副会長、越野会長、小室委員

役員	役職	所属	職名	氏名
会長	J Aしまねくにびき地区本部	本部長	越野 浩昭	
副会長	くにびき柿部会	会長	石倉 茂美	
委員	松江ぶどう生産組合	組合長	小室 正夫	
委員	島根県東部農林水産振興センター	部長	中尾 千秋	
委員	松江市産業経済部農政課	課長	恩田 敏子	
委員	J Aしまねくにびき地区本部	副本部長	中村 隆	

(敬称略)

冒頭、越野浩昭本部長が「今後、果樹産地を維持・発展させていくには、生産者の高齢化や資材費の高騰などの課題に、生産者と関係機関が一体となり取り組むことが必要であり、J Aにおいても、第4次農業戦略として果樹の生産振興に取り組んでまいります。松江市の果樹生産がより良い方向へ向かっていくよう、皆さまのご協力を賜りますようお願い申し上げます」と挨拶。議事では、規約や「果樹産地構造改革計画」など全議案が承認され、会長には、果樹経営支援対策事業の窓口である越野本部長が、副会長には、柿部会の石倉茂美会長が選ばれました。

松江ぶどう生産組合が発足！

松江市内のぶどう生産者6名が集まり、松江ぶどう生産組合が発足。7月3日には中海干拓研修センターで松江ぶどう生産組合設立総会を開催し、生産者のほか島根県東部農林水産振興センターや松江市、J A関係者など14名が出席しました。

同組合は、松江市内で生産されるぶどうの生産拡大と販売力強化を目的に設立。栽培指導の経験もある「未来塾」の小室正夫さんむろまさおが組合長に選ばれました。今後は、島根県オリジナル品種「神紅」や「シャインマスカット」などの生産拡大を図り、5年後には生産者を6名から10名に増やし、約170万円の販売額実現を目標に掲げます。

松江ぶどう生産組合 設立総会



松江ぶどう生産組合の組合員
(左から) 原隆一さん、小室組合長、(柿)まつもとの松本春男代表取締役

当地区本部の中村隆副本部長は「松江のぶどうを食べた消費者と生産者がともに笑顔になるように、関係機関と共に活動を支援する」と期待。小室組合長は「生産者で力を合わせ、生産技術の向上や販売力を強化することで、より高品質なぶどうを安定してお届けできるように取り組んでいきたい」と意気込みを語りました。



農業者の所得増大・農業生産の拡大に向けて取り組んでいます。

～くにびき地区本部の取り組み～



オリジナルうちわを作成

JAファーマーズ サンデーマーケット 開催日のお知らせ

JAファーマーズサンデーマーケットは、毎月第4日曜日にJA FARMERS Aコープたまゆ店で定期的に開催を予定しています。

8月・9月の開催日は下記のとおりです。

8月24日（日）

：8時30分～予定

9月28日（日）

：8時30分～予定

イベントの詳細は、くにびき地区本部のHPやSNS等でもご案内します。ぜひご来場ください！

地域農産物の魅力発信と地域住民の交流の場にしようと、「JAファーマーズサンデーマーケット」が7月27日、JA FARMERS Aコープたまゆ店内で開催されました。同店のリニューアルから8ヶ月が経ち、地域に根ざした継続的な賑わいの創出を目指して、JA FARMERS Aコープたまゆ店と珈琲屋Yori荘の内田龍治さんが中心となって企画。連日の猛暑から屋内での開催となりましたが、多くの来場者で賑わいました。



産直野菜もPR

「JAファーマーズサンデーマーケット」初開催！ 地域の魅力が集う日曜朝の新たな交流拠点

当日は、松江市内を中心とした飲食店や花屋などが出店し、くにびき農産物直売コーナー出荷者協議会もブースを設け産直野菜を販売しました。今回の目玉企画として、出店した飲食店ではカボチャやトウモロコシなどの産直野菜を使ったスイーツやサラダボウル、好きな野菜を自分で選んで作るオープンサンドを販売。美味しい地元産の野菜を使った商品に、来場者も興味深そうに手をのびしていました。また、玉湯支店ではキッズコーナーを設け、射的や輪投げのほか支店職員による「オリジナルうちわづくりコーナー」を実施。来場した子どもたちは、絵を描いたり色紙を貼った世界に1つだけのうちわを嬉しそうに握っていました。

来場者は「いろいろなマルシェが今はあるが、地域の飲食店が地域の野菜を使うという形が『地産地消』をより感じることができて良いなと思った」と話していました。

くにびき南瓜ブラックのジョー 共販出荷に向けて目合わせ会を実施

くにびき地区本部が重点振興品目として取り組んでいる「くにびき南瓜（ブラックのジョー）」が共販の出荷時期を迎え、6月30日に中海干拓研修センターで「出荷目合わせ会」を開催し、生産者やJA職員など16名が参加しました。

「ブラックのジョー」はホクホクとした食感とほっこりとした甘みが人気の品種。同目合わせ会は、県内外の市場に向けて共販出荷を開始するために、出荷規格や品質基準、梱包を確認する目的で毎年開催しています。

初めに、園芸特産課の犬山浩二係長が「収穫に向けて暑さが増すので、炎天下での作業を避け、室内での作業ができるよう工夫して出荷準備をお願いします。また、1箱でも多く出荷をいただき、本年産の美味しい南瓜を消費者へ届けましょう」と呼びかけ、出荷の



出荷前の南瓜で目合わせをする生産者

規格や日程について説明。参加者は品質基準などを確認した後、出荷前の南瓜を手に取り、個数毎の詰め方の違いや品質基準の目合わせを行いました。

参加者は「3月に植えたものは凍傷により、残念ながら収穫には至らなかったが、4月に植え直しをしたので、しっかりと栽培管理を続けて収量を確保したい」と意気込みを語りました。



品質基準について説明をする犬山係長

組合員のアクティブメンバーシップ確立に向けて取り組んでいます。

～くにびき地区本部の取り組み～



総会の様子

冒頭、石倉会長は「これから青色申告会の果たす役割は重要なものになると思っています。松江税務署など関係機関と連携をとり、常に最新の情報提供を行うことや、指導・相談体制の充実強化を図り、会員の皆様のお役に立てるよう一層の取り組みを行ってまいります」と挨拶。続いて中村副本部長が「今後も簿記記帳や税制の知識を研鑽され、自身の経営の分析を行って安定的な農業経営となるよう、JAとして支援してまいります」と祝辞を述べました。議事では、石倉会長が議長に選任され、令和6年度の活動報告や令和7年度の活動計画と収支計画、全議案が承認されました。



祝辞を述べる
中村副本部長



挨拶をする
石倉会長

くにびき農業青色申告会が総会を開催 ～安定した経営を目指して～

くにびき農業青色申告会（石倉由美子会長・85名）は6月25日、松江ニューアーバンホテルで税務研修会と令和7年度通常総会税務研修会を開催しました。総会に先立ち、松江税務署の浅見和彦筆頭副署長を講師に迎え、「税金の滞納について～国税徴収法解説～」と題して研修会を実施。続いて総会では、桂幹夫松江・安来地区青色申告会連合会長、くにびき地区本部中村隆副本部長などの来賓や会員など10名（委任状出席49名）が出席しました。



総会の様子

総会では、川津地区の岩水孝則盟友が議長に選任され、全議案が承認されました。その後研修会として、7月に開催される島根県JA青年大会にくにびき代表として出場する加藤善平盟友が、「セリ田から飛び出して」と題し発表（結果…奨励賞）。続いて上山根委員長が、同連盟が取り組む4つの食育活動について発表しました。さらに、島根大学生の吉田初さんが、島根大生協が取り組む食育活動について紹介し、大いに盛り上がりしました。



祝辞を述べる
越野本部長



挨拶をする
上山根委員長

くにびき青年連盟総会開催 ～絆を深め一致団結～

JAしまねくにびき青年連盟（上山根有史委員長・74名）は6月26日、松江ニューアーバンホテルで第36回通常総会を開催しました。当日は、村上淳一島根県農協青年組織協議会長、越野浩昭本部長などの来賓や盟友とJA関係者、島根大学の学生など35名が出席しました。冒頭、上山根委員長が「米への関心が消費者の中でも高まる中、米価を安定させ、生産者の声を届けるためにも、相互に絆を深め、一丸となって農業に取り組んでいきましょう」と挨拶。続いて越野本部長が「農業者がこれから何十年先もご飯が食べていけるような、地に足の着いた仕組みを打ち立てることが大切です。仲間づくりを力を入れます」と祝辞を述べました。



田ぐるまの説明をする野津顧問(左)と園児

最後に、食農教育をすすめるJAグループの子ども雑誌「ちやぐりん」8月号を全員にプレゼント。受けた園児は「本がもらえてうれしかった。お米について勉強したくなった」と元気に話してくれました。上山根委員長は「これまで2、3人からの質問のみだったので、今回は不思議だと思ったたくさんの質問に答えたい」と語りかけ、園児全員から手が挙がり、答えきれないほどの質問があり、とても良かったと思う。10月に予定している稲刈りでも、たくさん疑問を持ってもらい楽しく学んでもらいたい」と語りました。

くにびき青年連盟は7月14日、育英北幼稚園つき組の園児17名に、お米の種まきから食べるまでを一緒に学ぼうと、上山根委員長と野津喜洋顧問が先生となり、出前授業を行いました。最初に野津顧問が、お米ができるまでの過程や食事の大切さなどを、スクリーンに映し出し画像を見ながら説明。また、稲・玄米・白米の実物を手にとり確認するなど、園児たちと楽しく交流しました。参加した園児からは「なぜお米は美味しいのか」などの質問があり、「みんなのもとに美味しいお米を届けよう」と沢山の人が努力をしているからなど、盟友がわかりやすく答えていました。



お米作りの出前授業 ～青年連盟が園児と交流～



取り組んでいます。

～くびき地区本部の取り組み～

燦燦会セミナー開催！

「組織の心をひとつに」 つながりを深める

挨拶をする
松浦会長挨拶をする
越野本部長

くびき地区本部と
171の企業、団体で構成
する「燦燦会（松浦嘉昭会
長）」は7月15日、ホテル
一畑でセミナーを開催し、
52企業より111名が出
席しました。

同会は、当地区本部が
地元企業や団体との連携を深め、事業の発展
と相互の交流を図る目的で平成28年11月に設
立。講演会や企業見学会などの各事業を実施
し、会員相互の交流促進につなげています。

セミナー開会に先立ち、松浦会長が「先程、河合敦先生にお
伺いしたところ、まだ新しい松江の魅力があるのではないかと
感じ期待しています。短時間ですが、良い研修になりますよう
お願いします」と挨拶。続いて、同会の顧問でもある越野浩昭
本部長が「燦燦会は170社を超える企業の皆さまによって支
えられており、つながりが深まっていることを感じ嬉しく思っ
ています。縁を活かし、これからもお互いに共存共栄を図って
いきましよう」と述べました。

その後講演会に移り、歴史作家で多摩大学客員教授の河合敦
氏が、「目からウロコの松江の歴史」と題して講演。出雲地方を
治めた武将を中心に、松江城の概要や歴代の城藩主等について
歴史に沿って詳しく説明。最後は、今秋放映予定のNHK朝ド
ラ『ばけばけ』に触れ、小泉八
雲やセツについて語られました。

講演をする河合敦氏

参加した会員は「地元松江の
内容でしたが、知らないことも
これだけあるのだと気付き、と
ても満足感のある講演だった」
と感想を述べていました。



講演を聞く会員の皆さん

資産管理協議会総会開催 ～次世代対策に取り組む～

挨拶をする
松浦会長

J A くびき資産管理協議会（松浦嘉昭会長・
145名）は7月6日、ホテル白鳥で、第28回通
常総会を開催しました。

当日は、来賓として中村隆副本部長や会員等61
名が出席。冒頭、松浦会長が「松江市で調査・研究をしている土地利用
制度について、新しい情報を共有したいと思い、講師をお迎えしていま
す。実のある総会、研修会にできますようご協力お願いします」と挨拶。
続いて、来賓の中村副本部長が「高齢化が進み、相続税への意識も高まっ
ており、年々相談件数も増えています。皆さまが所有する資産を通じて、次世代との繋がり
を作り、地域活性化や地域農業の担い手確保に引き続き注力してまいります」と祝辞を述べ
ました。

その後、中原支部の安部知富会員を議長として、議事を進行。令和6年度の活動報告や令和7
年度の活動計画、役員改選など全議案が承認されました。

総会後には研修会を行い、松江市より「土地利用制度
の検討状況について（線引き制度の廃止）」、税理士法人
錦織会計事務所の吉田道夫税理士より「相続税対策につ
いて」と題し、土地利用制度や最新の相続税対策につ
いてそれぞれ受講しました。

役職	氏名	支部名
会長	松浦 嘉昭	法吉支部 再任
副会長	仙田 徹	川津支部 再任
副会長	郷原 亨	津田支部 新任
副会長	坂本 忠晴	乃木支部 新任
副会長	安部 知富	中原支部 再任

(敬称略)

笑顔と心を整えるハッピーコミュニケーション！

サンサン女子大第14回講座

口角上げについて
説明するおがっち氏

くびきサンサン女子大は7月5日、教育文化センターSan・san
館で「ハッピーコミュニケーション」講座を開催し、25名が参加しました。

同講座は、提携する山陰中央新報文化センターの
講師でもあるフリーアナウンサーのおがっち氏を迎え、口角を上げること
による印象や脳への効果、お互いを尊重しながら意見を交わす「アサーティ
ブコミュニケーション」について受講。また、緊張した時の対処法や大き
く感情が揺らいでしまう時に心を落ち着かせる方法など、よりよい人間関
係を築くためのコミュニケーション術を明るく楽しく学びました。

参加した学生は「ちょっとした意識を持つことで、良いコミュニケー
ションがとれるということを改めて感じたので、今日から取り組んでい
きたい」「講師のトークに引き込まれ、ずっと笑い続けて充実した時間だっ
た」と笑顔で話しました。



講座の様子



総会の様子

組合員のアクティブメンバーシップ確立に向けて

くにびき女性部日帰り親睦旅行

自然豊かな空間でごちそうを味わう

くにびき女性部（諏訪智子部長・749名）は7月3日、日帰り親睦旅行を実施し、部員43名と越野浩昭本部長、JA職員が参加しました。

くにびき地区本部を出発し、JA鳥取西部直営の農産物直売所「ふれあい村アスパル」を視察。JA担当者から説明を受けた後、広い店内にぎっしりと並ぶ新鮮な地元野菜や果物、加工品など、部員たちは和気あいあいと買い物を楽しみました。その後、芦津溪谷へ向かう途中にある「みたき園」で、山里の恵みをふんだんに使った山菜料理を堪能。自然の豊かさと温かなおもてなしに、心も体も癒されるやすらぎのひとときを過ごしました。

また、大江ノ郷自然牧場では、平飼卵「天美卵」を使っ



みたき園で記念写真を撮影する越野本部長（前から2列目1番左）と女性部員

た無添加スイーツや焼き菓子などお土産の購入やカフェで一息。最後に今年の3月にオープンした鳥取県立美術館を見学しました。参加した部員は、「初めて行く場所もあり、色々な所を見学することができて良かった」と笑顔で話しました。

バランス御膳でフレイルを予防！

健康グループ



バランス御膳

くにびき女性部健康グループ（佐藤愛子代表）は7月8日、営農総合センターで、「バランス御膳で始めるフレイル予防講座」を開催し、女性部員52名が受講しました。

フレイルとは、加齢によって心身が衰え、

社会とのつながりが減少した状態で、「健康」と「要介護」の間を指す言葉。

当日は、モルツウェル株式会社の平井康平管理栄養士を講師に迎え、フレイル予防の重要性や予防に大切な3つの柱「栄養」「運動」「社会参加」について説明を受けました。フレイルの要因となる※サルコペニアの危険度を自分で簡単に調べることができる「指輪つかテスト」に挑戦したり、主食・主菜・副菜の組み合わせ方やバランス御膳のヒントを聞き、参加者全員でバランス御膳を実食しました。

参加した部員は「お弁当を見たときは少なく感じたが、食べてみると量もちょうどよく、味もおいしかった」「夕食が多くなることが度々あるので、朝・昼・夜バランスの取れた食生活を心がけていきたい」と笑顔で話しました。

くにびき女性部フレッシュミズ部会

トウモロコシの収穫に大満足！

くにびき女性部フレッシュミズ部会（池田琴恵会長・20名）は7月12日、東出雲町の中海干拓地にある「みよちゃん農園」の圃場で、トウモロコシの収穫体験を開催し、部員12名が参加しました。

初めに、みよちゃん農園の奥井裕介氏が、「収穫するトウモロコシはおひさまコーンという品種。自然な甘さで料理にも合わせやすいので、いろいろな食べ方で楽しめます。1番上についている1番果を収穫してください」と特長や収穫の方法について説明。その後参加者は、葉が生い茂った幹から、トウモロコシの実を一つ一つ丁寧に収穫しました。暑さが心配されましたが、やわらかな曇り空と心地良い風に恵まれ快適な収穫体験となりました。

参加者は「収穫は一瞬ですが、ここまで育てるのに多くの時間と苦労があると思うので、感謝しながら美味しいトウモロコシを味わいたい」とトウモロコシを手に笑顔で話しました。



収穫方法を実演してみせる奥井氏（右）



講座の様子

※サルコペニア
筋力が減少・減弱した状態のこと
加齢などによって筋肉量が減少したり筋力が低下したりする疾患。

教育文化活動について学ぶ

～JAに集う全ての人を笑顔に～



講義をする福田支店長

くにびき地区本部は7月24日、職員研修の一環として営農総合センターで教育文化セミナーを開催しました。

初めに、（一社）家の光協会普及文化本部西日本普及文化局の小出繁副局長が、『家の光』などの記事活用事例や今後の編集企画について説明。続いて、令和5年度に行われた「全国家の光大会」で最優秀賞のJA全中会長賞を受賞された、JAグリーン近江の福田真由美日野東支店長を講師に招き、「活動の先にある笑顔のために」と題し、同支店が取り組まれていることについて受講しました。講義では、総務課長を務めていた受賞時に新しく取り入れた「教育文化活動大賞」制度やセミナーなどを開催すること、組合員・地域住民との結びつき強化に繋がったこと、また『家の光』や『日本農業新聞』を活用した取り組みから、新しい密な関係を築き、JAに集う全ての人が笑顔になることが重要であることなどを学びました。



参加した職員は、「人と人とのつながりの大切さを理解することができた」「改めて、『家の光』を隅々まで読んでみようと思った」と話しました。

第34回 ふれあい親子いもほり大会

日時：令和7年10月11日（土） 9:00～9:30 集合・受付
受付：「JA中海干拓営農センター」松江市東出雲町錦浜431-2
会場：「中海干拓地」 開会式終了後 徒歩にて移動



◆参加費：申込1組6名まで1,500円（いも収穫袋1枚付）追加袋は1枚500円別途（当日、現金にて申し受けます）

◆募集数：松江市在住の幼稚（保育）園・小学生とその保護者（保護者2名まで）150名

◆参加申込：受付期間内に、ホームページ上に掲載の参加申込フォームにて受付します。詳しくはくにびき地区本部ホームページでご確認ください。

◆受付期間：令和7年9月1日（月）～令和7年9月12日（金）

※応募者多数の場合は先着順とさせていただきます。

◆ご持参品：移植ゴテ・水筒・敷物をご持参ください。

- ◆注意事項：（1）収穫袋は主催者で準備し、受付にて配布します。配布する袋以外での収穫は禁止します。（2）本大会は、親子で大自然の中の「ふれあい」を目的に実施しています。大人だけの「芋収穫」の参加はご遠慮ください。また、クワ・スコップの持ち込みはお断りします。（3）当日限定緊急連絡先：090-6835-5233（ふれあい課携帯）（4）少雨決行いたします。天候不順等により中止する場合は、当日の午前7:00までに登録いただいたメールアドレスに連絡いたします。（5）お申込みいただいた個人情報、今大会のみに使用いたします。（6）活動の様子等、撮影した写真はJA広報誌、日本農業新聞、ホームページ、SNS等JA資料として使用いたします。予めご了承ください。

お申込みはこちらから



JALまね 検索

スケジュール

9:00～ 9:30 集合・受付
9:30～10:00 開会式・ちゃぐりんクイズ（徒歩にて移動）
10:15～11:15 いもほり
11:15～11:45 表彰式・抽選会・閉会式

★ジャンボいもコンクール ★わくわくプレゼントファーム ★抽選会
★女性部特製いもだんご汁販売



《主催：JAしまねくにびき地区本部・JAしまねくにびき青年連盟/共催：JAしまねくにびき女性部/後援：JA共済連・（一社）家の光協会》

◆お問い合わせ先：JAしまねくにびき地区本部 ふれあい課 TEL 55-3018
メールアドレス kunibiki-event.kun@ja-shimane.gr.jp

／＼作ってみませんか？／＼

くにびき女性部からのおすすすめ料理



宍道支部のみなさん

(前列左から)・岡田 節子 さん

・小豆澤 昭江 さん

(後列左から)・永江 りえ さん

・佐藤 愛子 さん

今月の
料理人



アレンジま〜ぼ〜なす、長芋のわさび粕漬け和え

旬の秋ナスをたっぷり使ったアレンジま〜ぼ〜なすは、辛いものが苦手な方やお子様でも食べられる、ご飯が進むレシピです。お好みで辛味を足して召し上がってください。長芋のわさび粕漬け和えは、ご飯のお供やおつまみにぴったりな一品です。ぜひ作ってみてください。

アレンジま〜ぼ〜なす (4人分)

ナス……………	400g	A:肉みそ用調味料	B:合わせ調味料
合い挽き肉……………	300g	みそ…………… 大さじ1	水…………… 150ml
ニンジン……………	50g	ショウガすりおろし	ウスターソース…大さじ1
タマネギ……………	100g	(チューブでもよい) ……小さじ1	めんつゆ (4倍濃縮)
ごま油……………	大さじ2	砂糖…………… 大さじ1	…………… 大さじ1
塩……………	小さじ4分の1	※一味とうがらし (お好みで)	C:水溶き片栗粉
コンソメ (粉末) ……	大さじ1	…………… 小さじ4分の1	片栗粉…………… 大さじ1
			水…………… 30ml

作り方

- ①ナスをひと口大の乱切りにする。10分程度水にさらしてアク抜きをした後、水気をよくふき取る。
- ②ニンジン・タマネギをフードプロセッサーでみじん切りにする。
- ③フライパンにごま油をひき、合い挽き肉を入れ中火にかけ、時々かき混ぜてほぐしながら色が変わるまで5〜6分ほど炒める。
- ④②と塩を加え、さらに炒める。
- ⑤火が通ったら、Aを入れて全体をかき混ぜ、味をなじませる。
- ⑥①を加え、ナスに油が回るように全体をよく混ぜ合わせ、Bとコンソメを入れてなじませたら、蓋をして弱火で6〜7分ほど加熱する。
- ⑦Cの水溶き片栗粉をまわし入れ、ざくっと混ぜてとろみをつける。

ポイント

・Aの肉みそ調味料を入れたら、よく混ぜてしっかりと味をなじませてから、ナスを加えてください。

長芋のわさび粕漬け和え (4人分)

長芋……………	250g
わさび粕漬け (スーパーなどで売っている市販品) ……	100g

作り方

- ①長芋の皮をむき、ひと口大に切る。
- ②切った長芋をラップで包み、電子レンジで5分温める。※加熱時間は適宜調整する。
- ③長芋が冷めてから、わさび粕漬けを和える。お好みでカワイレ大根などを添える。

くにびき地区本部 New Face

くにびき地区本部の新しい顔！
中途採用職員をよろしくお願いします。

- ①趣味・特技 ②好きな言葉 ③自己PR

(令和7年8月1日付)



あだち なおと
安達 直人

営農経済部

- ①温泉
- ②一期一会
- ③人との出会いを大切にし、地域の発展に貢献していきたいです。



かきね あゆみ
垣根 歩美

企画総務部
経営管理課

- ①音楽・カメラ
- ②感謝
- ③組合員の皆さまのお役に立てるよう精進してまいります。

9月くにびき地区本部 各種相談会カレンダー (税・ローン)

※各相談とも無料でお受けしています。

日	曜日	相談会内容	場所・予約先電話番号・時間
9	火	税務相談会	川津支店 (TEL: 23-2424) 10:00~12:00
10	水	税務相談会	乃木支店 (TEL: 21-3758) 10:00~12:00
11	木	税務相談会	くにびき支店 (TEL: 55-3028) 10:00~12:00

※事前にご予約をお願いします。予約先:開催会場となる支店

○くにびき統括支店ローンセンターでは、土曜日 (10:00~15:00) に休日住宅ローン相談を実施しています。要予約。

※9月の土曜営業日は20日です。

◆お問い合わせは

☎0120-988-380

9月 ふれあい訪問日

9月17日(水)・18日(木)

Check!

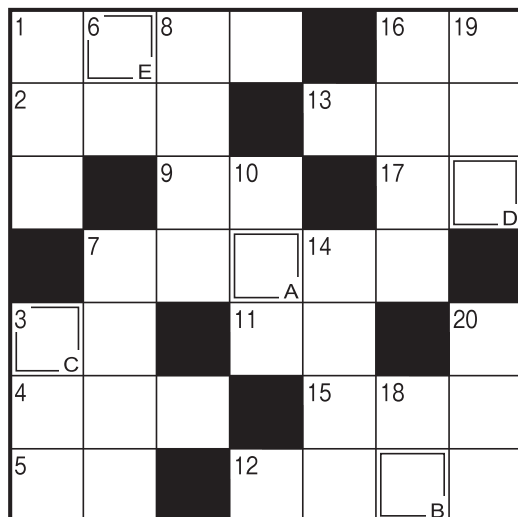
クロスワード パズル

農協全国商品券も
もらっちゃおう!!



二重マスの文字をA～Eの順に並べて
できる言葉は何でしょうか？

出題 ● ニコリ



答え

A B C D E

タデのカギ

- ①車窓を流れていきます
- ③おしゃべりではありません
- ⑥アルファベットの5番目
- ⑦9月1日は——大震災の起きた日。現在は防災の日になっています
- ⑧あばら骨ともいいます
- ⑩塗装していない、——のカウンター
- ⑭数え年99歳のお祝いです
- ⑯ホッキョクグマの別名
- ⑰終わったら秋になります
- ⑱祭りの——で焼きそばを買った
- ⑳十五夜に供える月見——

ヨコのカギ

- ①9月の第3月曜日は——の日。国民の祝日です
- ②敷布団にかけます
- ③ツナやビールを詰めます
- ④仕入価格のこと
- ⑤空振りしたらバットが切れるもの
- ⑦高知市の景勝地。坂本龍馬像があります
- ⑨重い——を上げて出かけた
- ⑪ダリアやコスモスはこの植物の仲間
- ⑫文は主語、——、目的語などからできています
- ⑬鶏卵の重量の60%を占めます
- ⑮兄が一人いる男性
- ⑯しめ縄から下げる白い紙。「垂」「四手」と書きます
- ⑰なくて七——

応募要項

応募方法

ハガキに、答え、住所、氏名、年齢、電話番号、本誌に関するご意見・ご感想を記入して、下記宛先にお送りください。右記の二次元コードからもご応募いただけます。



賞品

正解者の中から抽選で30名（JAしまね全体）の方に「農協全国商品券」をお贈りします。

当選者発表

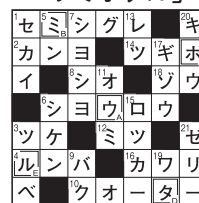
賞品の発送をもってかえさせていただきます。

宛先・締切

〒690-0823 松江市西川津町1635-1
JAしまね くにびき地区本部 ふれあい課 「クイズ」係
2025年9月5日（金）（当日消印有効）

先月号の答え

「ウミホタル」



佳作

人間の驕り兵器をもてあそぶ
重ねたる歳につまずく老いの日々
佃煮の土産しじみはインド産
ちようちんもお金が良いと今の人
スーパーに行くのにメモを連れてゆく

安来市 斎藤美重子様
松江市 山村 禎子様
松江市 加茂 京子様
松江市 後藤 竹子様
出雲市 多久和敬子様

急がないのんびり行こう八十路坂

隠岐の島町 上川 晃一様

恙無く今日も笑顔の日が暮れる

出雲市 佐野美和子様

誉め合ふて歡び合ふて老いの春

津和野町 田中とし様

優秀賞

（評）今年初めて、米が無いと言う苦勞を感じた。ここの農家の苦勞、農家の汗を知った春であった。そ

米がない農家の汗を知った春

雲南市 高橋 正子様

最優秀賞

川柳の広場

選句者 島根県川柳連盟会長 竹治かし先生

「家の光」でも俳句・川柳・詩・短歌を毎月募集しています。こちらへもぜひご応募ください！

「家の光」9月号定価 900円



JAしまねびよりは、皆様からの俳句・川柳を募集しています。締切は毎月14日必着です。（最優秀賞1句、優秀賞3句、佳作5句）9月号は俳句を募集します。1回のご応募につきお一人様3句までご応募いただけます。

応募方法

俳句または川柳、住所、氏名、年齢、電話番号を記入のうえ、ハガキ、FAX、Eメールのいずれかでご応募ください。
※応募作品は自作で未発表のものに限ります。
※応募作品の一切の権利は、JAしまねに帰属するものとします。
※受賞作品は地域名、氏名（または雅号）を掲載します。

あて先

〒690-0887 松江市殿町19-1
JAしまね ふれあい福祉課
「俳句の広場係」または「川柳の広場係」
FAX：0852-67-7708
Eメール：fureai.hon@ja-shimane.gr.jp



最優秀賞、優秀賞の4名様には「農協全国商品券1,000円分」をお贈りします。

・お預かりした個人情報は、プレゼントの抽選・発送のみに使用し、その他の目的で利用することはありません。

知らないと損！ 農業者年金の税金対策と保険料補助



まず農業者年金ってなに？

サラリーマンの年金
(厚生年金)

報酬比例部分(老齢厚生年金)

国民年金(老齢基礎年金)

2階立て

農業者の年金
(国民年金のみ)

国民年金(老齢基礎年金)

1階立て

農業者の年金はサラリーマンと違い公的年金の1階部分である国民年金のみです。厚生年金を受給するサラリーマン並の年金を確保するには、自分で2階部分の年金を準備する必要があります。この2階部分として農業者には農業者年金があります。

農業者の年金(国民年金+農業者年金)

農業者年金

国民年金(老齢基礎年金)

でも…加入する条件があるんでしょ？

農業者年金 には…

国民年金
第1号
被保険者
国民年金保険料
納付免除者を除く

年間60日以上
農業に従事

65歳未満
60歳～65歳未満
の方は、国民年金任
意加入被保険者に
限ります。

の方なら **どなたでも** 加入できます。

農業者年金は支払った保険料の全額が社会保険料控除の対象です。



今年は豊作で収入が良かったな…
だけど税金が多くなるのでは…
なにか節税対策はないかな？

前納すれば翌年1年間の保険料も **全額社会保険料控除** に使える！

生計を一つにする配偶者や後継者の保険料を支払った場合は、その合計額(最高保険料6万7千円の場合は3人分で24万1千2千円)が経営主の所得から控除できます。

農業者の担い手には、保険料の国庫補助があります。

保険料の国庫補助 を受けるには…

国民年金第1号被保険者等の農業者年金への加入要件に加え、

- **39歳までに加入**
- **農業所得が900万円以下**
- **下記の農業者の担い手要件** を満たせば受けられます。

- ① 認定農業者で青色申告をしている人
- ② 認定新規就農者で青色申告している人
- ③ ①または②の要件を満たす経営主と家族経営協定を締結して経営に参画している配偶者、後継者 など

月額最大1万円の保険料補助

詳しい内容のお問合せは…

お近くの農業委員会・JAへ！！

ハチを見かけたら巣づくり警報！

無料調査

ハチ
駆除

近寄らず、触らず!!

ハチの駆除はプロにお任せください。

ハチの駆除をご希望の方は
最寄りのJAまでご連絡ください。
JAしまね取扱業者(株)コダマサイエンスの
地区担当者が訪問させていただきます。



お問い合わせ先

最寄りのJA各支店に
お問い合わせください

取扱業者

(公社)日本しるあり対策協会企業登録(島根県002・鳥取県002)

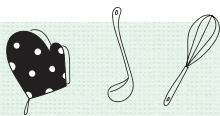
Kodama 株式会社 コダマサイエンス

■本社/島根県松江市西塚島2-8-23 ☎0852-43-0852

■松江営業所/☎0852-26-6757 ■出雲営業所/☎0853-31-9600

■益田営業所/☎0856-22-5390 ■江津出張所/☎0855-52-6852

■隠岐営業所/☎08512-2-2471



島根うまれの食材レシピしまねうレシピ

島根県『家の光』講師
飯塚生美子 先生

夏野菜と鶏もも肉の甘酢炒め

材料（4人分）

鶏もも肉……………1枚（250g）
A 酒……………大さじ1
塩……………ひとつまみ
片栗粉……………大さじ3
トマト……………2個
ピーマン……………3個
サラダ油……………大さじ1
B ポン酢……………大さじ3
みりん……………大さじ3
炒りごま（白）……大さじ3

コメント

・調味料はポン酢のみりんだけ！簡単甘酢炒めです。
・トマトやお酢のさわやかな酸味が夏の疲労回復にどうぞ！

作り方

- ①鶏もも肉は一口大に切り、Aを入れてもみ込んでおく。
- ②トマトはヘタを取って4等分のくし形に切り、横半分に切る。
- ③ピーマンは種とヘタを取り除き、一口大に切る。
- ④フライパンにサラダ油を熱し、①の肉に片栗粉を加えて混ぜ、皮目を下にして並べ入れ、中火にかける。
- ⑤片面に焼き色がついたら、裏返して両面に焼き色をつける。
- ⑥余分な脂があればふき取り、混ぜ合わせたBを回し入れ、蓋をして弱火で4分蒸し焼きにする。
- ⑦4分経ったら蓋を取って、ピーマンを加え、



強火にしてとろみがつくまで煮詰める。ピーマンに火が入ったらトマトも加え、たれをからめる。
⑧最後に炒りごまを振りかけ、火を止める。

アレンジ

・野菜はなす・たまねぎ・ズッキーニ・レンコンなどに替えてもOK！
・お肉は鶏むね肉や豚肉でも美味しくできます。

～甘酢炒めのリメイク～ 夏野菜と肉のチーズ焼き

材料（4人分）

残った甘酢炒め……………適量
合挽肉……………100g
なす……………2本
トマト……………1個
しめじ……………1袋
おろしにんにく……………小さじ1
オリーブ油……………大さじ1
顆粒コンソメ……………小さじ2
ピザ用チーズ……………40g
ピーマン……………適量

作り方

- ①なすは一口大に切り、トマトは粗くざく切りにする。
- ②しめじは小房にほぐしておく。
- ③フライパンになすを入れてオリーブ油を回しかけ、表面にコーティングしてから火にかけ、焼き色をつけるようにして火を通す。
- ④合挽肉を加えて炒め、色が変わってきたら、にんにくとトマト、しめじも加えて炒め合わせ、顆粒コンソメで味付けする。
- ⑤残った甘酢炒めを加えひと混ぜしたら、耐熱皿に移し、ピザ用チーズをかけ、その上にスライスしたピーマンを散らす。
- ⑥250度に温めたオーブントースターで5分間焼いて、焼き色をつける。



コメント

・残り物に少し食材を追加してリメイクすると時短で深みのあるエコ料理に変身！
・更に残ったら、具材をみじん切りにして混ぜ合わせ、ミートソース風パスタソースに！（素麺でもOK）

アレンジ

・追加する食材は、たまねぎ、にんじん、ブロッコリー、きのこ、マカロニ、ゆで卵などでもできます。
・耐熱皿に移さず、フライパンのまままで蓋をしてチーズが溶ける程度に加熱してもOKです。

JA 島根厚生連

健康散歩

夏は便秘になりやすい！？

「暑くなると便が出なくなる」「夏バテと同時に便秘も悪化する」「夏場はいつもコロコロの便が出る」こんな症状に悩まされている方はいませんか？普段は快便という方でも、夏になると便秘気味になることがあります。なぜ、夏は便秘になりやすいのでしょうか。今回は夏の便秘の原因とその対策をご紹介します。



～夏の便秘の原因～

- ✓ 水分不足…暑い夏は、汗をたくさんかくため、体内の水分が不足し、便が硬くなります。
- ✓ 体の冷え…エアコンによる冷えや、冷たいものの摂りすぎなどは、自律神経のバランスを乱し、腸の動きが悪くなります。
- ✓ 食生活の乱れ…夏バテや食欲不振で、食事が減ると便の量が減り、便が出にくくなります。

～夏の便秘を解消！今日からできる対策～

- 水分補給…1日1.5～2リットルを目安に、水やノンカ

フェインのお茶などをこまめに飲むように心掛けましょう。

- 体を冷やさない…室内ではエアコンを効かせすぎないよう注意し、カーディガンや羽織ったり、ひざ掛けを使ったりして冷えを防ぎましょう。
- 食物繊維を摂る…野菜、果物、海藻、きのこなど、食物繊維が豊富な食品を積極的に摂りましょう。食物繊維は、便の量を増やし、腸の動きを活発にする効果があります。
- 規則正しい生活…毎日同じ時間にトイレに行く習慣をつけましょう。また、十分な睡眠をとり、ストレスをためないことも大切です。

便通を整え、腸内環境を改善することは全身の健康を保つことにもつながります。夏は気が付かないうちに便秘になりやすい生活を送ってしまう傾向があるため、しっかり対策し、体の調子を整えて、残りの夏を元気に過ごしましょう。



【編集後記】朝の涼しい時間すらない日が続く今日この頃☹皆さんはどんな暑さ対策をしていますか？私は今まで帽子や日傘を敬遠していたのですが、使い始めると直射日光を避けられて暑さや疲れも軽減されるので今では手放せない夏の必需品です。まだまだ続く暑い夏、しっかり暑さ対策をして乗り切りたいですね…！（古）